

令和4年3月

一般社団法人大阪臨床整形外科医会理事会 資料本体

日時： 令和4年3月5日（土） 15:00～18:00

場所： ハービス PLAZA 5階（8,9,10号）会議室

大阪市北区梅田 2-5-25 TEL06-6343-7350

令和3年度12月O C O A理事会議事録の承認

中野理事

資料1

[協議事項]

1、研修会予定

堀口副会長

第348回大阪臨床整形外科医会 WEB 研修会（令和4年3月26日 WEB 研修会 カメラオンでE-TESTなし）共催 中外製薬 16:00～

講演Ⅰ：「RA患者のQOL最大化には何が必要か？ ～筋肉からのアプローチ～」座長：山口 眞一 先生

演者：大阪市立総合医療センター 整形外科 医長 多田 昌弘 先生

N6（リウマチ性疾患、感染症）・13（リハビリテーション（理学療法・義肢装具を含む））

Re（運動器リハビリ医）

日医 19（身体機能の低下）、73（慢性疾患・複合疾患の管理）

講演Ⅱ：「COVID-19 アップデート」座長：白木 隆士 先生

演者：大阪大学大学院医学系研究科 感染制御学 教授 忽那 賢志 先生

N1（整形外科基礎科学）、6（リウマチ性疾患、感染症）

日医 8（感染対策）、9（医療情報）

日本リウマチ学会（講演Ⅰ・Ⅱ まとめて2単位）

日本リウマチ財団（講演Ⅰ・Ⅱ まとめて2単位）

日本リハビリテーション医学会（講演Ⅰ 1単位）

第349回大阪臨床整形外科医会WEB研修会（令和4年4月16日 WEB研修会）：共催 大正製薬 16:00～

講演Ⅰ：「最新の骨関節疾患治療の動向 ―2022 update―」座長：邊見俊一 先生
演者：大阪大学大学院医学系研究科 運動器再生医学共同研究講座 特任講師 蛭名 耕
介 先生

N4（代謝性骨疾患（骨粗鬆症を含む））、N6（リウマチ性疾患、感染症）、R（リウマ
チ医）

日医 9（医療情報）、61（関節痛）

講演Ⅱ：「がんロコモについて ― 転移性脊椎腫瘍の手術治療を中心に」座長：貴島 浩
二 先生

演者：近畿大学奈良病院 整形外科・リウマチ科 教授 戸川 大輔 先生

N5（骨・軟部腫瘍）、7（脊椎・脊髄疾患）、SS（脊椎脊髄病医）

日医 59（背部痛）、60（腰痛）

日本リウマチ学会（講演Ⅰ、Ⅱまとめて）申請中

日本リウマチ財団（講演Ⅰ）

日本骨粗鬆症学会（講演Ⅰ）

第350回大阪臨床整形外科医会（令和4年5月14日 ハイブリッド開催 現地会場：エー
ザイ(株)大阪コミュニケーションオフィス 100名）：共催 エーザイ 16:00～

講演Ⅰ：「関節リウマチの診療～総合診療科医の立場から（含：連携について～）」座長：岸
本 英樹 先生

演者：大阪市立総合医療センター 総合診療科 診療部長 後藤 仁志 先生

講演Ⅱ：「小児運動器疾患に対する診断の基本とピットフォール」座長：和田 孝彦 先生
演者：関西医科大学 整形外科科学講座 診療講師 片岡 浩之 先生

N3（小児整形外科疾患（先天異常、骨系統疾患を含む、ただし外傷を除く）、11（骨盤・股
関節疾患）申請中

日医 4（医師―患者関係とコミュニケーション）、72（成長・発達の障害）申請中

日本リウマチ学会（講演Ⅰ、Ⅱまとめて）申請中

日本リウマチ財団:学術講演（講演Ⅰ、Ⅱまとめて）

日本骨粗鬆症学会（講演Ⅰ）申請中

第351回大阪臨床整形外科医会研修会（令和4年6月18日 ハイブリッド開催 現地会

場：リーガロイヤルホテル 50名) 共催 小野薬品工業 16:00～

講演Ⅰ：「新しい関節リウマチ診療ガイドラインとアバタセプトの位置づけ」座長： 先生
演者：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 生体機能再生・再建学講座 整形外科 西田
圭一郎 先生

講演Ⅱ：「腰曲がりの保存治療の限界と手術治療の功罪」座長： 先生

演者：大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学 整形外科学 武中 章太 先生

第 352 回大阪臨床整形外科医会研修会（令和 4 年 7 月 9 日 ハイブリッド開催 ）共催
ファイザー製薬 16:00～

講演Ⅰ：「変形性関節症における慢性疼痛とその治療」座長： 先生

演者：島根大学医学部整形外科学教授 内尾 祐司 先生

講演Ⅱ：「股関節痛に対する治療～人工股関節全置換術の変遷～」座長： 先生

演者：医療法人河端病院 整形外科 部長 末広 洋 先生

令和 4 年 7 月 17 日（日）、18 日（月）第 35 回日本臨床整形外科学会学術集会

令和 4 年 8 月 20 日（土）第 353 回研修会：旭化成ファーマ

講演Ⅰ：「」座長： 先生

演者： 先生

講演Ⅱ：「腰曲がりの保存治療の限界と手術治療の功罪」座長： 先生

演者：奈良県立医科大学整形外科教室 准教授 谷口 晃 先生

令和 4 年 9 月 17 日（土）第 354 回研修会：第一三共

令和 4 年 10 月 22 日（土）第 355 回研修会：帝人ヘルスケア

令和 4 年 10 月 23 日（日）JCOA 理事会（大阪）

令和 4 年 11 月 12 日（土）第 356 回研修会：久光製薬

講演Ⅰ：「」座長： 先生

演者：大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学 整形外科学 海渡 貴司 先生

講演Ⅱ：「Two-incision THA 文化人類学的ミカター」座長： 先生

演者：和歌山県立医科大学 整形外科 講師 西山大介 先生

2、令和4年度組織表

長谷川会長

<令和4・5年度 一般社団法人大阪臨床整形外科医会 組織表> 案 20220305

会 長	藤本 啓治	JCOA 対策、医政、地域情報
副会長・会長代行	小林 正之	医療保険、広報、災害対策
副会長	白木 隆士	総務、療法士、リクルート
副会長	木下 裕介	定款、骨と関節、大阪マラソン
副会長	堀口泰輔	学術、介護保険・運動器リハ、日韓
副会長	中谷 晃之	経理

監事	黒田 晃司	栗本 一孝	森本 清一
議長	右近 良治		
副議長	山本 哲		
裁定委員	三橋 二良	大島 正義	矢倉 久義

右近良治会員＊は理事会・常任理事会オブザーバー兼任する。

<理事>

明石 健一	榎本 誠	大窪 博	大成 浩征	荻野 晃
片岡 英一郎	河合 大五郎	河崎 美也子	貴島 浩二	岸本 成人
岸本 英樹	木下 裕介	小坂 理也	越宗 勝	古瀬 洋一
小林 正之	清水 広太	白木 隆士	神藤 佳孝	竹口 輝彦
調子 和則	中川 浩彰	中谷 晃之	中塚 映政	中野 晋吾
長谷川 利雄	藤本 啓治	邊見 俊一	堀口 泰輔	前中 孝文
増田 博	宮口 正継	宮崎 浩	宮島 茂夫	宮田 重樹
村上 仁志	森下 忍	山口 眞一	山本 善哉	山本 哲
梁 裕昭	吉村 弘治	和田 孝彦		

以上 43 名（任期は令和5年3月31日まで。再任をお願いすることがあります。）

< 常任理事 >

藤本 啓治	小林 正之	白木 隆士	木下 裕介	堀口 泰輔
中谷 晃之	山本 哲	前中 孝文	増田 博	長谷川 利雄
貴島 浩二	宮田 重樹	神藤 佳孝		

以上 13 名（総会承認必要）

< 大阪症例検討委員会委員 >

神藤佳孝、岸本成人、古瀬洋一、山口眞一、小坂理也

< 超音波セミナー >

山本善哉、吉村弘治

< 大阪府医師会 >

会長	茂松茂人
医学会運営委員会	森泰壽
健康相談医	山本哲、永田行男
医学会評議員	森本清一、神藤佳孝
交通事故医療委員会	前中孝文、増田博、森泰壽、山本哲、宮内晃、長谷川利雄
学校医部会常任委員会	貴島浩二
医療事故調支援委員会	小林正之
医事紛争委員会	森下忍、古瀬洋一、小島朗
労災部会	中川浩彰、宮田重樹、宮内晃
指導委員会	石井正治、増田博、西川正治
健康スポーツ医学委員会	小林正之、宮田重樹

< 日本臨床整形外科学会役員・各種委員会推薦委員 >

副理事長(全国区理事)	長谷川利雄
理事(地区理事)	貴島浩二
代議員(5 名)	白木隆士、藤本啓治、木下裕介、小林正之、堀口泰輔、 邊見 俊一
補欠代議員(2 名)	宮田重樹、神藤佳孝

病院WG	古瀬洋一
学術委員会	堀口泰輔
学会雑誌編集委員会	宮島茂夫、山口眞一
社会保険等	神藤佳孝
医療システム委員会	宮崎浩、前中孝文(アド)
I T戦略委員会	白木隆士
運動器リハ・介護委員会	吉村弘治
SLOC 連携委員会	宮田重樹
利益相反管理委員会	堀口泰輔
利益相反小委員会	堀口泰輔
総務委員会	邊見 俊一
国際委員会	長山 正
災害医療チーム検討委員会	神藤佳孝

< S L O C >

副理事長	長谷川利雄、宮田重樹
------	------------

< 日本整形外科学会 >

運動器リハ委員会	吉村弘治、長谷川利雄
広報渉外委員会	前中孝文
メンバーシップ委員会	増田博、長谷川利雄（アドバイザー）

< 日本運動器科学会 >

評議員	澤田出、早石雅宥、森本清一
-----	---------------

【常設委員会】赤字:新任、黒字:留任

1. 総務委員会				
副会長	白木隆士（主）			
アドバイザー 議事録最終確認	宮田重樹			
委員長 理事会資料確認	中野晋吾			

副委員長 理事会資料作成	和田孝彦（主）	岸本英樹		
委員 議事録作成	明石健一	榎本 誠	大窪 博	大成浩征
	片岡英一郎	河合大五郎	小坂理也	清水広太
	中塚映政	宮口正継	村上仁志	河合大五郎
	吉村弘治	山本善哉	越宗 勝	竹口輝彦
福利厚生委員会				
常任理事	貴島浩二			
委員長	宮崎浩			
アドバイザー	松矢浩司	森本清一		
2. 学術委員会				
副会長	堀口泰輔（主）	小林正之	中谷晃之	
常任理事	神藤佳孝	貴島浩二	宮田重樹	
アドバイザー	栗本一孝	右近良治		
委員長	神藤佳孝			
副委員長	小坂理也			
企画委員会	神藤佳孝	清水広太	邊見俊一	古瀬洋一
	宮島 茂夫	山口眞一	小坂理也	
委員(理事)	明石健一	榎本誠	大窪博	大成浩征
	荻野晃	片岡英一郎	岸本成人	岸本英樹
	小坂理也	古瀬洋一	清水広太	竹口輝彦
	調子和則	中川浩彰	中谷晃之	中塚映政
	中野晋吾	邊見俊一	宮口正継	宮崎浩
	宮島茂夫	村上仁志	森下忍	山口眞一
	山本善哉	梁裕昭	吉村弘治	越宗 勝
	和田孝彦			
委員	朝子晃憲	木佐貫修	日下昌浩	史賢林
	竹内英二	建道壽教	中塚映政	西澤徹
	橋本和喜	牧恭彦	三木良久	森拓美
	安田忠勲	山口康二		
3. 医療保険対策委員会				

アドバイザー	茂松 茂人	増田博		
(1) 社会保険	小林正之			
委員(理事)	清水広太	中川 浩彰	増田博	神藤佳孝
	村上仁志			
(2) 自賠・労災	調子和則			
委員	堀口泰輔	山本善哉	上野憲司	
(3) 柔道整復審査	岸本成人			
社保	白木隆士	藤本啓治	荻野晃	安田忠勲
	榎本誠			
国保	岸本成人	吉村弘治	木下裕介	山口眞一
	西澤徹			
4. 定款委員会				
副会長	木下裕介 (主)			
アドバイザー	栗本一孝			
委員	常任理事全員			
5. 広報委員会				
副会長	小林正之 (主)			
(1) 会報編集				
委員長				
委員(理事)	荻野晃	岸本成人	神藤佳孝	中川浩彰
	中野晋吾	宮口正継	宮崎浩	吉村弘治
	宮田重樹	岸本英樹	山本善哉	片岡英一郎
	明石健一	小坂理也	大窪博	
	河合大五郎	越宗 勝		
(2) インターネット	岸本成人	宮田重樹	調子和則	山本善哉
	宮崎浩			
(3) F ネット	宮崎浩			
6. 介護保険・運動器リハビリテーション				
副会長	堀口泰輔 (主)	中谷晃之(会計)		
アドバイザー	森本清一			
常任理事	貴島浩二			
(1) セラピスト RC				

委員長	山本善哉			
委員(理事)	明石健一	榎本誠	大成浩征	荻野晃
	片岡英一郎	岸本英樹	清水広太	宮島茂夫
	吉村弘治	和田孝彦		
委員	廃止			
(2)介護保険				
委員長	吉村弘治			
委員(理事)	梁裕昭	越宗 勝		
7. 「骨と関節の日」委員会				
副会長	木下裕介 (主)	小林正之	木下裕介	白木隆士
常任理事	貴島浩二	宮田重樹	神藤佳孝	
アドバイザー	森本清一			
委員長	大成浩征			
委員(理事)	明石健一	榎本 誠	大窪 博	荻野晃
	片岡英一郎	岸本成人	小坂理也	竹口輝彦
	調子和則	中川浩彰		
委員	斧出安弘	福井宏有	稲垣泰司	北野安衛
	藤田秀隆	今井 秀	永田行男	森 泰壽
8. JCOA対策委員会				
会長直轄	藤本啓治			
常任理事	貴島浩二* (JCOA地区理事)			
アドバイザー	栗本一孝	黒田晃司	松矢浩司	早石雅有
(1)病院	古瀬洋一			
(2)有床診	***			
(3)無床診	梁裕昭			
(4)近畿ブロック				
委員長	吉村弘治			
委員	常任理事全員			
9. 大阪マラソン委員会				
副会長	木下裕介(主)			
常任理事	貴島浩二	堀口泰輔	神藤佳孝	宮田重樹

アドバイザー	松矢浩司	黒田晃司	栗本一孝	茂松茂人
	森本清一	森 泰壽	右近良治	
委員長	荻野晃			
副委員長	大窪博			
委員(理事)	河崎美也子	大成浩征	片岡英一郎	岸本英樹
	岸本成人	古瀬洋一	小坂理也	清水広太
	竹口輝彦	調子和則	中川浩彰	中野晋吾
	邊見俊一	宮口正継	宮崎 浩	宮島茂夫
	森下忍	中塚映政	山口眞一	山本善哉
	梁裕昭	吉村弘治	和田孝彦	越宗 勝
	河合大五郎	榎本誠	明石健一	
委員	青山賢治	史賢林	綾久文	稲垣泰司
	靱裕康	葉山 悦伸	金子 徳寿	矢倉久義
	田上実男	水沢慶一	北野安衛	日下昌浩
	高尾泰広	小島朗	日下昌浩	和田誠
	中村 昭文	村田茂	妻鹿良平	中岡伸哉
	重松浩司	永田行男	中山明	早石泰久
	藤本勝久	中村昭文	安田忠勲	峯孝子
10. 整医協連絡委員会				
会長直轄	藤本啓治			
アドバイザー	茂松茂人	柴田和弥		
委員	常任理事全員			
11. 療法士担当委員会				
副会長	白木隆士（主）			
常任理事	貴島浩二	宮田重樹		
委員長	中川浩彰			
副委員長	吉村弘治			
委員(理事)	片岡英一郎	小坂理也	森下忍	宮島茂夫
委員	和田誠			
12. 経理委員会				
副会長	中谷晃之（主）	木下裕介		
財務・経理	中谷晃之（主）	同補佐	木下裕介	

委員(理事)	清水広太*	明石健一	荻野晃	和田孝彦
	榎本誠			
理事会・会場	吉村弘治*	アドバイザー	栗本一孝	
会員管理	白木隆士			
＜会場担当（近畿ブロックを含む＞				
委員(理事)	吉村弘治*	中野晋吾	梁裕昭	和田孝彦
13. 災害対策委員会				
副会長	小林正之（主）			
委員長	神藤佳孝			
委員(理事)	邊見俊一	大窪博	宮崎浩	明石健一
	小坂理也	片岡英一郎	村上仁志	河合大五郎
	中塚映政			
14. 地域情報委員会				
会長直轄	藤本啓治			
副会長	小林正之	藤本啓治	白木隆士	木下裕介
	堀口泰輔	邊見 俊一		
常任理事	宮田重樹	神藤佳孝		
アドバイザー	茂松茂人	三橋二良	天野敬一	長田明
	石井正治	増田博		
委員長	調子和則			
委員(理事)	中川浩彰	調子和則	中川浩彰	堀口泰輔
	宮崎浩	神藤佳孝	中野晋吾	大成浩征
	山本善哉			
委員	西川正治	谷本吉造	二木理人	上野憲司
15. リクルート委員会				
副会長	白木隆士(主)	小林正之	木下裕介	堀口泰輔
	中谷晃之			
常任理事	神藤佳孝	宮田重樹		
委員長	邊見俊一			
委員(理事)	梁裕昭	大成浩征	片岡英一郎	宮崎浩
【特別委員会】				

1. 日韓臨床整形外科研究会準備委員会				
副会長	堀口泰輔（主）	白木隆士	木下裕介	
常任理事	長谷川利雄	貴島浩二	宮田重樹	神藤佳孝
委員長	梁裕昭			
委員(理事)	中野晋吾	吉村弘治	和田孝彦	

3、高齢者アンケート

長谷川会長

資料 2

4、会員動態

白木副会長

前回理事会 令和 3 年 12/4 （正会員 496 名） 以降 新入会 **0 名**

前回理事会 令和 3 年 12/4 以降 退会 **9 名**（内正会員 **6 名** 特別会員 1 名）

福田 寛二 先生 令和 3 年 12 月 11 日 ご逝去 OCOA 顧問
 濱田 彰 先生 令和 3 年 12 月 18 日 ご逝去 OCOA 名誉会員
 天野 敬一 先生 令和 3 年 12 月 22 日 ご逝去 OCOA 特別会員で正会員
 小野村 敏信 先生 令和 3 年 12 月 31 日 ご逝去 OCOA 名誉会員
 中山 明 先生 令和 4 年 1 月 12 日 ご逝去 OCOA 正会員
 福井 英民 先生 令和 4 年 2 月 4 日 退会届提出 OCOA 正会員
 服部 良治 先生 令和 4 年 2 月 8 日 ご逝去 OCOA 特別会員で正会員
 JCOA 名誉会員

橋本 千暉 先生 令和 4 年 2 月 16 日 退会届提出 OCOA 正会員

上田 やす弘 先生 令和 4 年 2 月 14 日 ご逝去 OCOA 正会員

令和 4 年 2 月 16 日現在

正会員 **490 名**（496-6）

特別会員 6 名（うち 3 名が JCOA 名誉会員）

顧問(現役教授) 7 名

特別顧問 1 名 茂松 府医会長(正会員)
名誉会員(元教授等) 9 名
合計 512 名 (JCOA 名誉会員が計 5 名)

JCOA 正会員は OCOA 正会員 490 名 + OCOA 特別会員 6 名
496 名 から JCOA 名誉会員 5 名 を除いた
491 名

5、大塚製薬株式会社と OCOA の共催プランに関して 神藤理事

資料 3

業務委託契約書

一般社団法人 大阪臨床整形外科医会（以下「甲」という）と大塚製薬株式会社（以下「乙」という）とは、以下の通り業務委託契約（以下「本契約」という）を締結する。

第 1 条(委受託)

乙は、甲に対し、以下に定める業務（以下「本業務」という）を委託し、甲はこれを受託する。

なお、本業務の詳細については、甲乙別途協議の上、決定するものとする。

- ① 甲に所属する医療従事者（以下「医療従事者」という）が参加している甲のメーリングリストを通じての、医療従事者に対する、乙の手の外科疾患啓発に関するポスター（以下「本ポスター」という）の周知及び本ポスターのクリニック等での掲載の推奨

②本ポスターの医療従事者への配布

③前記各号に付随する業務

2 乙は、医療従事者に配布する本ポスターを甲に提供するものとする。

3 甲は、本ポスターを医療従事者への配布以外の目的に使用しないこととする。

第2条(対価)

本業務の対価は、100,000円(消費税別)とする。

2 甲は、本業務終了後、乙に対し請求書を発行し、乙は当該請求書を受領した月の翌々月末日までに、甲の指定する銀行口座に振り込むことにより本業務の対価を支払うものとする。なお、振り込みに要する費用は乙が負担するものとする。

3 第1項に定める本業務の対価のほか、乙は、事前に乙が承認のうえ甲が本業務の遂行のために要した費用を支払う。この場合、甲は、証憑とともに乙に請求し、乙は前項に基づき当該費用を支払う。

第3条(報告)

甲は、乙から本業務の状況を求められた場合はこれに応じるものとする。また、甲は本業務の結果を乙に報告するものとする。

第4条(有効期間)

本契約の有効期間は、本契約締結日より2022年8月31日まで有効とする。

2 前項の規定にかかわらず、第5条の規定は、本契約終了後も3年間有効に存続するものとする。

第5条(秘密保持)

甲および乙は、本契約に関して知り得た相手方の秘密情報を秘密に保持し、相手方の事前の書面による承諾のない限り、第三者に開示または漏洩してはならず、本契約の履行以外の目的に使用してはならないものとする。

第6条(権利義務の移転禁止)

甲および乙は、相手方の事前の書面による承諾を得なければ、本契約に定める自己の権利または義務を第三者に譲渡し、又は担保に供することができない。

第7条(契約の解除)

甲または乙は、相手方が次の各号の1つに該当したときは、催告なしに直ちに、本契約の全部又は一部を解除することができる。

- (1) 本契約に違反し、相当の期間を定めて相手方に対して、その是正を書面で求めたにもかかわらず、相手方がその違反を是正しないとき
- (2) 相手方の信用、名誉又は相互の信頼関係を傷つける行為をしたとき
- (3) 破産手続開始、民事再生手続開始、会社更生手続開始、その他倒産手続開始の申立があったとき
- (4) 差押え、仮差押え、仮処分、競売の申立、租税滞納処分その他これに準ずる手続があったとき
- (5) 支払停止もしくは支払不能に陥ったときまたは手形もしくは小切手が不渡りとなり、手形交換所より銀行取引停止処分を受けたとき
- (6) 合併、解散、清算、事業の全部もしくはその他重要な事業の一部を第三者に譲渡し、またはしようとしたとき

(7)その他前各号に類する事情が存するとき

2 前項に基づく解除は、相手方に対する損害賠償請求を妨げない。

第 8 条(裁判管轄)

甲および乙は、本契約に関する紛争については、被告の所在地を管轄する地方裁判所を

第一審の専属的合意管轄裁判所とするものとする。

第 9 条(協議事項)

本契約に定めのない事項または本契約の各条項の解釈に疑義が生じた場合、甲および乙は、互いに誠意をもって協議し、これを解決するものとする。

本契約締結の証として、本書 2 通を作成し、甲乙記名押印の上、各 1 通を保有する。

2022 年 7 月 1 日

甲 大阪府大阪市平野区長吉出戸 5-2-13

一般社団法人大阪臨床整形外科医会

会長 長谷川 利雄

乙 東京都港区港南 2-16-4

大塚製薬株式会社ニュートラシューティカルズ事業部女性の健康推進プロジェクト

リーダー 西山 和枝

6、令和3年度収支決算

木下副会長

1) 3期比較 資料4

2) 予算決算比較表 資料5

3) 貸借対照表 資料6

7、令和4年度予算案

木下副会長

資料7

8、監査報告書

木下副会長

資料8

9、第46回 OCOA 総会レジメ

中野理事

資料9

10、その他

長谷川会長

[報告事項]

1、改定率について

長谷川会長

<https://www.m3.com/news/general/994873>

日医 vs 財務省、診療報酬「痛み分け」

行政・政治 2021 年 12 月 21 日（火）配信読売新聞

2022 年度の診療報酬改定は、医師らの人件費などにあたる「本体」部分を 0・43% 引き上げるプラス改定とすることで事実上、決着した。岸田首相は大幅なプラス改定を求めた [日本医師会](#) と、医療費の抑制を主張した財務省の双方の顔を立て、両者は「痛み分け」となった。（政治部 後藤香代、医療部 西田真奈美）

「本体」0・43%上げ 首相裁定

厚労族

「最低でも 0・5% で踏みとどまりたかったが、切り込まれてしまった」医師で厚生労働族の [自民党](#) 衆院議員は 20 日、今回の改定についてこう不満を漏らした。医療サービスの価格を決める診療報酬は「本体」と「薬価」で構成され、原則 2 年に 1 回改定される。このうち、「本体」の改定率は医師らの収入や [医療機関](#) の経営に直結する。日医は「[新型コロナウイルス](#) 禍で疲弊した医療機関を立て直すにはプラス改定しかない」（中川俊男会長）と主張。厚労族の加藤勝信・元厚生労働相らとともに、「プラス 0・5%」を防衛ラインに設定していた。実際、[感染拡大](#) による受診控えなどの影響で、20 年度の一般病院の利益率は 6・9% の赤字だった。これに対し、財務省はコロナ関連の補助金を含めると 0・4% の黒字となったことを踏まえ、「[医療機関](#) の経営実態は近年になく好調だ」との見方をとった。今回の改定では、看護師の処遇改善と来春に始まる [不妊](#) 治療の保険適用でそれぞれ 0・2% のプラスを盛り込むことが決まっている。財務省はこれらも含め、「0・3% 台前半」という厳しい改定率を突きつけた。

党重鎮

改定を巡る協議は、[自民党](#) と日医の関係の変化で一層難航した面がある。中川会長は、安倍元首相や麻生自民党副総裁らと密接な関係を築いた横倉義武・前会長と比べ、政界とのパイプが細い。コロナ禍では政権批判とも取れる発言も目立った。このため、安倍、麻生両氏は「中川氏に配慮する必要はない」とのスタンスをとった。安倍内閣でのプラス改

定は4回とも横倉会長時代に行われ、14年度が消費増税対応分を除いた実質0・1%、16年度が0・49%、18、20年度がそれぞれ0・55%だった。安倍、麻生両氏はこれらの平均である0・42%を下回る水準にするべきだと主張した。財務省や首相経験者の圧力に劣勢となった日医や厚労族議員は、先の衆院選で引退した重鎮の伊吹文明・元衆院議長に仲介を求めた。伊吹氏は、首相に「『聞く力』と言っているんだから、（厚労族の）意見を聞いたらどうか」と電話で伝え、16日に尾辻秀久元厚労相らが首相に直談判する機会が設けられた。

横倉氏も「0・42%を基準にしないでほしい」と政府側に水面下で求めた。横倉氏としても会長時代の「横倉平均」を基に医療費の抑制が行われる事態は避けたいとの思惑があったとみられる。首相にも来夏の参院選では日医の集票力を一定程度、頼りにしなければならぬ事情があった。首相は「診療報酬が国民負担に直結することを考えれば、大盤振る舞いはできないが、日医とケンカする必要もない」と周囲に語り、「横倉平均」をわずかに上回る0・43%で決着させた。0・43%は医療費2000億円程度の押し上げ効果がある。

リフィル処方箋 繰り返し利用可…医療費0・1%押し下げ

今回の診療報酬改定では、医療の効率化を図る財務省の主張で、一定期間内に一つの処方箋を繰り返し利用できる「リフィル処方箋」の導入が決まった。リフィル処方箋は、例えば、患者に90日分の投薬を指示する場合、計3回利用できる30日分の処方箋を発行する制度だ。処方箋をもらうためだけに通院する手間が省け、通院回数が減るため、医師に支払われる診療報酬が減り、医療費0・1%分（480億円程度）の押し下げ効果がある。海外では、英国やフランス、米カリフォルニア州などが導入している。利用できるのは、フランスが主に慢性疾患の患者、英国は定期的に同じ薬剤を使用する患者だ。カリフォルニア州では規制がない。繰り返し調剤できる期間は、「6か月または12か月」「制限なし」——など幅がある。医療費削減を目指す健康保険組合連合会（健保連）はリフィル処方箋の対象について、「病状が安定し、繰り返し同じ処方を医師から受けることが見込まれる患者」と提言している。一方、日医は「薬の過剰な服用につながったり、医師が病状の変化を見逃したりする恐れがある」などとして、制度の導入に反対してきた。今後、厚生労働相の諮問機関・中央社会保険医療協議会（中医協）で、詳細な制度設計が議論される見通しだ。患者の対象範囲などを巡り、健保連と日医との綱引きが続くとみられる。（政治部 三歩一真希）

2、令和3年度第1回災害医療チーム検討委員会 9/9・WEB 神藤理事

日 時：令和3年9月9日（水）20：00～22：00

場 所：ウェブ会議

出席者：理 事 長 新井貞男

副理事長 奥村栄次郎、長谷川利雄、松原三郎、五味渕聡志

担当理事 河村英徳、久賀養一郎、村井 聡

委 員 長 神藤佳孝

副委員長 荒木邦公

委 員 八木知徳、山下剛司、加藤裕之、濱邊卓也、姫野信吉

アドバイザー 田辺秀樹

欠席者：アドバイザー 藤野圭司

理事会審議付帯事項：

1. JCOADiT 各ブロック実務委員会の開催について

各地区内での発災時に対応できる連絡網の構築（顔の見える関係の構築）を目的として、各地区単位で災害関連の実務委員会の開催について、理事会へ上程することとした。

（1）内容

- ① 期間内に発生した災害被害報告
- ② 各地区や「各県」臨床整形外科医会等の災害対策委員会の活動報告
- ③ 各地区や「各県」臨床整形外科医会等主催の災害関連研修会等の広報
- ④ 災害医療チーム検討委員会報告等

（2）開催日時：木曜日の20：00から開始を基本とする。

（3）開催間隔：3か月ごとで年4回開催する。

① 1巡目

北海道・東北（12名）→関東・中部（16名）→近畿・中国四国（15名）
→九州（8名）

② 2巡目

災害の発生状況を考慮しながら、協力関係の構築が必要な地区で順次組み換えを行う。

（4）開催形式：ZOOM ミーティングによるウェブ会議（JCOA 事務局手配）

（5）参加者：

- ① 司会：本委員会が当該地区内の実務担当者の中から指名する。

② 参加者：

- ・ 開催地区内の実務担当者
- ・ 開催地区に所属する災害医療チーム検討委員会構成者
- ・ 開催地区内の理事
- ・ 河村英徳理事
- ・ 神藤佳孝委員長
- ・ 荒木邦公副委員長
- ・ 田辺秀樹アドバイザー

委員会決議事項：

1. 第4回 JCOA 災害医療チーム研修会の開催について

(1) 次のとおり決定した。

① 開催日時：令和4年2月12日（土）15：30～17：00（約90分）

② 開催形式：完全ウェブ方式

ライブ配信のみ又はライブ配信とオンデマンド配信併用とし、ハイブリッド形式でのオンサイト会場は設定しない。

③ 配信方式：ZOOM ミーティング

基本的にビデオオンとし、発言時のみミュート解除とする。

参加者もビデオ ON 状態とし、指定発言や座長からの突然指名による発言、投票機能等を活用し、全員が随時発言可能な視聴者参加型の研修会とする。

④ 配信業者：ローカルサポート（IT 関連会社） <http://local-s.net/>

⑤ 開催費用：総額約 10 万円

- ・ 配信業者費用 3 万 5 千円
- ・ 日整会教育研修会手数料 3 万円
- ・ 講演 1 講師料 3 万円

⑥ 研修会の概要：

- ・ 対象者：JCOA 会員及びその家族・スタッフ、その子弟
- ・ 参加費：無料

⑦ 日整会教育研修単位申請：

講演 2 のみ、申請を行い、受講料は徴収しない。

分野は N-2（外傷性疾患）若しくは N14-5（医学全般にわたる講演会などで、N14-1～14-4 に当てはまらないもの）とする。

⑧ 研修会次第：

- ・ 総合司会：加藤裕之委員
- ・ 理事長挨拶：新井貞男理事長
- ・ 講演 1：中学生防災士による子供向け防災講演（30 分）

座長 濱邊卓也委員

演者 IB Laboratory 研究員 出水眞輝さん

(日本防災士機構認証防災士 No132478)

- ・ 講演 2 : CPR、トリアージや災害医療の基礎知識

～災害時の考え方がどこまで理解されているのか？

日常とはどう違うのか？～ (60 分)

座長 荒木邦公副委員長

演者 河村英徳理事

- (2) 今回は、ウェブ開催であるのでグーグル・フォーム等を利用して参加者に対するアンケートの実施について検討することとした。
- (3) 本研修会終了後、引き続き、第 1 回 JCOADiT 全国実務担当者会議（「各県」臨床整形外科医会等の災害対策委員会・災害実務連絡担当者会議）を開催することとした。

2. 第 1 回 JCOADiT 全国実務担当者会議について

次のとおり決定した。

- (1) 開催日時：令和 4 年 2 月 12 日（土）17：00～18：00

第 4 回 JCOA 災害医療チーム研修会終了後、引き続いて ZOOM ミーティングで開催する。

- (2) 次第（ビデオオン、発言者以外ミュート）

- ・ 総合司会：神藤佳孝委員長
- ・ 理事長挨拶：新井貞男理事長
- ・ JCOADiT 全国実務担当者メーリングリストの設置意義に関して：
河村英徳理事
- ・ 実務担当者自己紹介（氏名・所属・一言）

3. 第 34 回 JCOA 学術集会（新潟）シンポジウム 7 について

次のとおり決定した。

- (1) 各委員は、シンポジストの事前収録を早急に確認し、各演題への質問事項を本委員会メーリングリストに提出する。
- (2) 総合討論では、ビブスを着用する。

4. 災害実務連絡担当者メーリングリストの情報伝達内容について

- (1) 神藤佳孝委員長は、次のとおり、本メーリングリスト内の情報伝達項目を報告した。

- ① JCOA 事務局から発信する地震・台風・大雨等の各自然災害時の概要情報
- ② 「各県」臨床整形外科医会等災害対策委員会の活動報告
- ③ 全国各地区内主催の災害関連研修会等の開催情報

④ 災害医療チーム検討委員会の報告

- (2) 河村英徳理事は、JCOA 事務局から発信する地震・台風・大雨等の各自然災害時の概要情報について、「各県」臨床整形外科医会等单位での被害情報までに留め、会員医療機関の個別被害内容は含めないこととし、個別被害内容は必要に応じて本委員会メーリングリストを活用して本委員会内で情報共有を図りたいと報告し、了承された。

5. JCOADiT の活動記録をまとめる小冊子の作成について

- (1) 八木知徳委員は、小冊子作成の趣旨を、次のとおり説明した。

北海道の災害実務連絡担当者は、道内の4支部に1人ずつ決定した。

その際、本委員会の活動等を説明し、理解いただくために、発足当時の経緯、災害医療チーム研修会や学術集会シンポジウム活動等の内容がわかる資料集の必要性を感じた。

- (2) 協議の結果、小冊子は過去の資料を中心にしてまとめ、できるだけコンパクトにすることとした。

6. 本委員会議事録の作成担当について

神藤佳孝委員長は、今回以降の本委員会議事録の作成について、次の順番で分担したいと報告し、了承された。

- (1) 八木知徳委員・加藤裕之委員
- (2) 山下剛司委員・神藤佳孝委員長
- (3) 濱邊卓也委員・加藤裕之委員
- (4) 姫野信吉委員・荒木邦公副委員長

委員会報告事項：

特になし。

3、第4回 JCOA 災害医療チーム研修会 2/12・WEB 神藤理事

日臨整第89号

令和3年12月3日

会員 各位

一般社団法人日本臨床整形外科学会

理事長 新井 貞男

災害医療チーム検討委員会

〒110-0016

東京都台東区台東 4-26-8

御徒町台東ビル 6 階

TEL : 03-3839-5363

FAX : 03-3839-5366

Mail : office@jcoa.sakura.ne.jp

第 4 回 JCOA 災害医療チーム研修会（ウェブ形式）開催のご案内

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

JCOA 災害医療チーム（JCOADiT: Japan Clinical Orthopaedic Association Disaster Team）は、発災時に被災地域の医療機関、主として JCOA 会員医療機関への人的支援を通して、間接的に被災地域支援を行うことを目的としています。

令和 2 年度の研修会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止とさせていただきますでしたが、本年度はウェブ形式により開催することといたしました。

今回の研修会は、別紙 1 のとおり、講演 1 を中学生防災士による子ども向け防災講演として、防災について子どもたちと家族で学べる研修会となっております。ウェブ形式ですので場所を選ばず、自宅や診療所、出先でもパソコン・スマホなどでお気軽にご視聴いただけます。

是非ご家族や医療機関のスタッフとご一緒にご視聴いただき、災害時にどう行動するかに関してご家族で話し合うよい機会となれば幸いです。

奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

謹白

- * お手数ですが、本案内状を医療機関内で公開いただくか、コピーして家族・スタッフに配布をお願いいたします。家族単位でパソコンで参加するか、個人のスマートフォンなどの SNS デバイスで参加することを想定しています。
- * ご参加の方は、別紙第 2 の QR コード又は URL から令和 4 年 1 月 28 日（金）までにお申し込みください。

別紙 1

第 4 回 JCOA 災害医療チーム研修会次第

主 催：一般社団法人日本臨床整形外科学会
日 時：令和4年2月12日（土）15：30～17：00
場 所：インターネット回線によるウェブ会議システム
「ZOOM ミーティング」を使用して開催
参 加 費：無料（日整会教育研修単位：無料）

次 第：

司会：JCOA 災害医療チーム検討委員会委員 加藤裕之

15：30～15：33 開会挨拶 日本臨床整形外科学会理事長 新井貞男

15：33～16：00 講演1「中学生防災士による子供向け防災講演」
座長：JCOA 災害医療チーム検討委員会委員 濱邊卓也
演者：IB Laboratory 研究員 出水眞輝さん

16：00～17：00 講演2「災害医療に関わる一員としての基礎知識 Vol.1」
（日整会教育研修単位：N-2、N14-5 のいずれか1単位）
座長：JCOA 災害医療チーム検討委員会副委員長 荒木邦公
演者：日本臨床整形外科学会理事 河村英徳

17：00 閉会挨拶 日本臨床整形外科学会副理事長 松原三郎
（本研修会後、JCOADiT 実務連絡担当者会議を引き続き行います。）

【教育研修単位取得】

日本整形外科学会教育研修単位 講演2：【2】【14-5】
（講演開始15分以降の参加は単位取得不可）

【注意】

日整会単位を希望の先生へ：E-testingはありませんが、必ずビデオONで視聴ください。ビデオONが確認できない場合、ビデオONが出来ないデバイス（カメラ付いていない等）での視聴では単位付与はできません。

別紙2

第4回 JCOA 災害医療チーム研修会参加申込要項

【受講申込方法】

以下の URL 又は QR コードから申し込み下さい。(ウェブ以外の申込は不可)

<https://forms.gle/htR8qZJkiYNhdXoX9>



【受講申込締切】 申込締切は令和 3 年 1 月 28 日（金）です。

事前申込制となっており、記載不備などの場合は受付不可となりますのでご注意ください。

【参加費】 JCOA 会員及びその家族、スタッフ：無料

【単位申請費】 日本整形外科学会教育研修単位 JCOA 会員：1 単位でも 2 単位でも無料

【受講方法】 本研修会は Zoom ミーティングで開催いたします。

- * 視聴には Zoom アプリのインストールが必要です。
- * アプリではなくブラウザで視聴になった場合は単位認定ができません。
- * 以下に Zoom ミーティング視聴方法を記載してありますので必ずご一読ください。

【申込～受講までの流れ】

① 受講申し込み

上記 URL 又は QR コードからお申込み後ください。開催が近づきましたら、JCOA 事務局からメールにてお知らせします。もし、連絡がない場合は事務局までお問い合わせください。

② 事前視聴のご案内

以下の URL で事前に接続がテストできます。

<https://zoom.us/test>

スマートフォン、タブレットから参加する場合は以下の URL から、事前に「Zoom Cloud Meeting」をダウンロードしてください。

(1) iPhone / iPad:

<https://apps.apple.com/jp/app/zoom-cloud-meetings/id546505307>

(2) Android:

<https://play.google.com/store/apps/details?id=us.zoom.videomeetings&hl=ja>

【出欠確認】 Zoom ミーティングの入退室ログ、ビデオ ON を用いて出席を確認します。

ビデオ ON が確認できないか欠席の場合、単位申請は不可です。

【お問い合わせ先】

一般社団法人日本臨床整形外科学会
災害医療チーム検討委員会
〒110-0016
東京都台東区台東 4-26-8 御徒町台東ビル 6 階
TEL : 03-3839-5363 FAX : 03-3839-5366
Mail : office@jcoa.sakura.ne.jp

4、第 1 回 JCOADiT 全国実務担当者会議 2/12・WEB 神藤理事

日臨整第 114 号
令和 4 年 1 月 18 日

JCOADiT 全国実務担当者 各位

一般社団法人日本臨床整形外科学会
理事長 新井 貞男
災害医療チーム検討委員会

〒110-0016
東京都台東区台東 4-26-8
御徒町台東ビル 6 階
TEL : 03-3839-5363
FAX : 03-3839-5366
Mail : office@jcoa.sakura.ne.jp

第 1 回 JCOADiT 全国実務担当者会議（ウェブ形式）開催のご案内

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

第 1 回 JCOADiT 全国実務担当者会議は、令和 4 年 2 月 12 日（土）に開催される第 4 回 JCOA 災害医療チーム研修会終了後、引き続きウェブ形式により別紙のとおり開催させていただきます。

ご出席される先生は、別紙の出席通知により令和 4 年 1 月 28 日（金）までに事前参加登録ページに直接ご登録いただくか、JCOA 事務局までお送りください。

末筆ですが、先生のますますのご活躍を祈念いたします。

敬具

1. ウェブ形式での注意事項

- (1) ご参加の場合は、メールアドレスの登録が必要です。
- (2) 会議開催中はカメラをオン状態とし、マイクはミュート（OFF）に、発言時にミュートを解除してください。

2. 参加にあたって

- (1) 事前に接続方法等の確認を必ず行ってください。確認方法は参加登録後に届くメールに記載いたします。
- (2) 当日の参加にあたって、参加者名については、質問者を特定できるように、ニックネームは「都道府県名+氏名」を入力してください。

別紙

第1回 JCOADiT 全国実務担当者会議（ウェブ形式）次第

日 時：令和4年2月12日（土）17：00～18：00

場 所：インターネット回線によるウェブ会議システム

「ZOOM ミーティング」を使用して開催

次 第：

総合司会 JCOA 災害医療チーム検討委員会委員長

神藤 佳孝

挨拶 日本臨床整形外科学会理事長

新井 貞男

議 題 JCOADiT 全国実務担当者メーリングリストの設置意義に関して

日本臨床整形外科学会理事

河村 英徳

そ の 他 実務担当者自己紹介（氏名、所属、一言）

第1回 JCOADiT 全国実務担当者会議（ウェブ形式）出席通知

1. 事前登録ページから参加登録をお願いいたします。

<https://us02web.zoom.us/join/zoom/register/tZYkduqurjMpE9FV2pDq9xQT8C2oXze6VPp1>

2. 1が難しい場合はFAXによる参加申し込みをお願いいたします。

以下の必要事項をご記入の上、JCOA 事務局までお送り下さい。

（JCOA 事務局 FAX：03-3839-5366）

- (1) 第1回 JCOADiT 全国実務担当者会議に出席します。
ご欠席の場合は、回答不要です。
- (2) 出席の場合、案内を受け取るメールアドレス (必須)

@

* アドレス記載時の注意事項

アルファベットはブロック体で、大文字か小文字かを正確にご記入下さい。

数字の0 (ゼロ) や1は、アルファベットのo (オー) やl (エル) と混同しやすいので、分かるようにご記入下さい。

都道府県名

医療機関名

お 名 前

5、令和4年度 診療報酬改定 整形外科領域

神藤理事

資料10

6、令和3年度第5回一般社団法人日本臨床整形外科学会理事会

及び整形外科医政協議会執行委員会 12/19・WEB 貴島理事

日 時：令和3年12月19日 (日) 10:00～13:50

場 所：日本臨床整形外科学会事務局

東京都台東区台東4-26-8 御徒町台東ビル6階

TEL 03-3839-5363

(インターネット回線によるウェブ会議システム「ZOOM ミーティング」を利用して開催)

出席者：(26名)

特別出席者：(5名)

欠席者：(1名)

【審議事項】

1. 日本運動器科学会学術プロジェクト「身体活動量とロコモ度と関係 ―心理社会的背景を含めて―」について（赤居・田辺）
上記臨床観察研究に関して、JCOA 理事の協力が承認された。
2. 令和 3 年度入会承認及び退会状況について（長谷川）
前回承認後の新入会員が承認された。（8 名）

正会員数	5,653 名
名誉会員数	118 名
計	5,771 名
3. 学術集会倫理審査委員会（仮称）の立ち上げについて（長谷川）
JOA の「学術総会演題応募における倫理的手続きに関する指針」の導入に伴い、JCOA としても今後対応が必要になるため、学術委員会より学術集会倫理審査委員会（仮称）を立ち上げる事が提案され、今後その方向で進めていく事が承認された。
4. 第 34 回運動器学会学術総会（令和 5 年 7 月 8・9 日）への補助金について（新井）
JCOA 会員の田辺秀樹会員が会長として実施される全国規模の学会であり、過去の補助金の実績を確認し、JCOA より補助金を出すことが承認された。
5. 「令和 3 年度 Sport in Life 推進プロジェクト」アンケート調査について（新井）
日本医師会と連携したスポーツ庁委託事業の医師に対するアンケートで JCOA として協力することが承認された。
6. 日本医学会連合「領域横断的なフレイル・ロコモ対策の推進に向けた WG 全体会議」アンケート（2 回目）について（新井）
JCOA として作成したアンケート回答内容が確認され、日本医学会連合に送付する事が承認された。
7. 令和 4 年度学術賞・学会功労賞・学術奨励賞の選考について（大山）
 - 1) 学術賞は推薦なし
 - 2) 学会功労賞は 5 名の会員の推薦があり、採点にて学術委員会より久保谷康夫会員（岩手県）が候補者として推薦され、承認された。なお、僅差で次点となった橋口兼久会員（鹿児島県）は JCOA に対する功労は大きく、特別感謝状を贈呈することが承認された。
 - 3) 学術奨励賞は候補者基準に基づき、神藤佳孝会員（大阪府）候補者として推薦され、承認された。
8. 今後の JCOA 学術集会及び JCOA 研修会の開催地区について（大山）
第 40 回 JCOA 学術集会（令和 9 年）は東北ブロック、第 51 回 JCOA 研修会（令和 7 年）は中四国ブロック、第 52 回 JCOA 研修会（令和 8 年）は九州ブロック、第 53 回 JCOA 研

修会（令和9年）は中部ブロックで行われることが承認された。

9. 倫理審査委員会内規の変更について（大山）

第6条 令和3年3月23日文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を斟酌し、委員に正会員以外の非会員を委嘱する。

上記内規の赤字部分の追加変更が承認された。

10. 国際化プロジェクト論文、和文一般論文投稿規程の変更について（鮫島）

（現行）

投稿規程（国際化プロジェクト論文、和文一般論）

1. 著者資格（Authorship Policy）

主著者および共著者は、原則として本学会会員および本学会が認めたものに限る

（変更案）

投稿規程（国際化プロジェクト論文、和文一般論）

1. 著者資格（Authorship Policy）

主著者および共著者は、原則として本学会会員および本学会の学会雑誌編集委員会が認めたものに限る

変更理由は、現行の投稿規程では理事会のタイミングで審議されるため、投稿から受付に至るまでの時間が長く、投稿論文に対して速やかに対応できる体制にするためであり、理事会で承認された。

11. JCOA 生命共済制度の会員への広報について（渡邊）

加入件数増加のため、来年度 JCOA ニュースに同封し送付する事が承認された。

12. 第34回 JCOA 学術集会（新潟）シンポジウム動画の会員への広報について（小野）

医業承継は、理事長諮問事項に新たに加えられた課題であり、また会員の約半数が、10年以内に直面する課題であるため「医業承継に関する調査と分析」をテーマにしたシンポジウムを会員が自由に閲覧できるように JCOA ウェブサイトでの動画配信の提案があり、承認された。

13. 高齢者の運動習慣アンケート調査の実施について（二階堂）

高齢者の子ども時代の運動習慣が将来の身体状況にどのような影響を及ぼしているかを検証するために行う「高齢者の運動習慣アンケート～子ども時代の運動習慣と高齢者の身体状況に関して～」の内容の説明があり、再度内容の修正を行う事となった。

【各種報告事項】

1. 令和3・4年度各種会議等実施状況（奥村）
2. 第34回 JCOA 学術集会（新潟）について（総括・決算報告）（木島）
3. 第47回 JCOA 研修会（長野）収支報告について（二階堂）
4. 令和3年度日整会功労賞への推薦について（五味渕）
今村宏太郎 先生（長崎県） 小玉 弘之 先生（秋田県）
佐藤 公一 先生（東京都） 麻生 伸一 先生（滋賀県）
前田 登 先生（愛知県） 二階堂元重 先生（長野県）
田中 幸博 先生（奈良県） 大橋 輝明 先生（福岡県）
石井 光一 先生（岐阜県）
5. 令和元年度学術研究 研究報告書及び会計報告について（大山・木内）
6. 令和2年度学術研究 研究報告書（1年次）について（大山）
7. 交通事故に起因する脳脊髄液漏出症を疑う患者の診療に関するアンケート調査結果について（木内）
第34回 JCOA 学術集会（新潟）シンポジウムの発表内容がメディカルトリビューンに掲載された記事の報告があった。
8. 各都道府県のリクルート担当者（リクルート委員会）の活動状況（渡邊）
9. 3年以上会費未納の正会員の退会について（渡邊）
10. 運動器の健康を増進させ健康寿命を延伸させる議員連盟（第14回）（令和3年12月7日）（新井）
 - 1) 令和4年度診療報酬改定に関し、1. 小児運動器疾患指導管理料の適応年齢の引き上げ、2. 運動器リハビリテーション（Ⅰ）と脳血管疾患等リハビリテーション（Ⅱ）を同一点数に の二項目を説明し、要望した。
 - 2) ロコモティブシンドロームの普及と対策について説明を行った。
11. 令和4年度名誉会員の推薦について（新井）
7名の名誉会員の条件を満たしている会員の報告があった。
12. 令和4年度理事会等の日程案について（新井）
13. 令和4年度事業計画の提出について（新井）
令和4年1月17日までに提出
14. 令和2・3年度理事長諮問事項に対する答申について（新井）
令和4年3月31日までに提出
15. 運動器の健康・日本協会のオンラインシンポジウム「児童生徒等の運動器の健康を守り、学校での重大事故を防ぐために」について（新井）

雑誌 Moving で取り上げられたオンラインシンポジウムの報告があった。

16. 検診機器を用いた側弯症検診における地域連絡協議会について（新井）
各都道府県の窓口となる会員の報告があった。
17. 第 70 回日本理学療法学会の後援名義使用について（新井）
後援名義使用許可したことが報告された。
18. GIGA スクール構想に対する JCOA 声明文に関する記事について（令和 3 年 10 月 30 日 m3.com）（新井）
ホームページに掲載されている GIGA スクール構想に対する JCOA 声明文が令和 3 年 10 月 30 日の m3.com に取り上げられたことが報告された。
19. 関節可動域表示ならびに測定法改訂について（新井）

主な変更点

1. 足関節・足部における「外がえしと内がえし」および「回外と回内」の定義
外がえしと内がえし：足関節・足部に関する前額面の運動で、足底が外方を向く動きが外がえし、足底が内方を向く動きが内がえしである。
回外と回内：底屈、内転、内がえしからなる複合運動が回外、背屈、外転、外がえしからなる複合運動が回内である。母趾・趾に関しては、前額面における運動で、母趾・趾の軸を中心にして趾腹が内方を向く動きが回外、趾腹が外方を向く動きが回内である。
2. 足関節・足部に関する矢状面の運動の用語
背屈と底屈：足背への動きを背屈、足底への動きを底屈とし、屈曲と伸展は使用しないこととする。ただし、母趾・趾に関しては、足底への動きが屈曲、足背への動きが伸展である。
3. 足関節・足部の内転・外転運動の基本軸と移動軸
基本軸：第二中足骨長軸とする。

2021 年 9 月に日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会、日本足の外科学会のそれぞれの理事会の承認を経て、決定し 2022 年 4 月 1 日より発効となる。

20. 令和 3 年度シンポジウム報告（令和 3 年 11 月 27 日）（小野）
21. 令和 3 年度 JCOA 有床診療所部会全体会議報告（令和 3 年 12 月 5 日）（西本）
22. 第 8 回日韓臨床整形外科合同研究会の再々延期について（二階堂）
来年度予定されていた第 8 回日韓臨床整形外科合同研究会の延期が報告された

【各委員会等報告事項】

1. 医療システム委員会（令和 3 年 10 月 13 日）（小野）

2. IT戦略委員会（令和3年10月18日）（鮫島）
3. 学校保健委員会（令和3年10月19日）（貴島）
4. 総務（広報・福祉・組織拡大）委員会（令和3年10月20日）（渡邊）
5. 経理委員会（令和3年10月23日）（木内）
6. 学会雑誌編集委員会（令和3年10月25日）（鮫島）
7. 医療安全・倫理委員会（令和3年10月29日）（大山）
8. 有床診WG（令和3年11月10日、12月4日）（西本）
9. 運動器リハビリテーション・介護保険検討委員会（令和3年11月23日）
（小野）
10. 自賠・労災委員会（令和3年12月3日）（木内）
11. 学術委員会（令和3年12月8日）（大山）

【日整会報告事項】

1. 機構専門医に関する日整会の対応について（原田）
2. 専門医共通講習への対応について（原田）

////////////////////////////////////

整形外科医政協議会執行委員会

出席者：（26名）（名簿順）

【整形外科医政協議会報告事項】

1. 第49回衆議院議員総選挙結果報告（新井）
2. 運動器の健康を増進させ健康寿命を延伸させる議員連盟名簿（新井）
3. 各県別加入状況（新井）全国で44.8%の加入率
4. 執行部の動き（新井）コロナによる非常事態宣言で暫く活動が出来なかったが解除に伴い11月より活動を再開している。

7、令和3年度第6回一般社団法人日本臨床整形外科学会理事会

及び整形外科医政協議会執行委員会 2/27・WEB 貴島理事

日 時：令和4年2月27日（日）10：00～13：00

場 所：日本臨床整形外科学会事務局

東京都台東区台東4-26-8 御徒町台東ビル6階

TEL 03-3839-5363

（インターネット回線によるウェブ会議システム「ZOOM ミーティング」を

利用して開催)

出席者：(26 名)

特別出席者：(4 名)

欠席者：(0 名)

【審議事項】

1. 令和 3 年度入会承認及び退会状況について (長谷川)

前回承認後の新入会員が承認された。(5 名)

正会員数	5,623 名
名誉会員数	117 名
計	5,740 名

2. 令和 4 年度定時社員総会の議案について (新井)

議案内容について説明があり、承認された。

3. 令和 4 年度名誉会員候補者の推薦について (新井)

八木知徳会員 (北海道)、山添好宏会員 (三重)、矢田 修会員 (広島)、
荒川重光会員 (茨城)、前中孝文会員 (大阪)、相原忠彦会員 (愛媛)、
東 明彦会員 (三重)

以上、7 名の会員の先生方の令和 4 年度名誉会員候補者の推薦が承認された。

4. 運動器検診後の受診勧告児童・生徒等の実態調査 (7 年目) の実施について (新井)

運動器検診初年度より行っている運動器検診後の受診勧告児童・生徒等の実態調査
を、令和 4 年度も同様の内容でアンケート調査を行う事が承認された。

5. 柔整問題解説の一般向け小冊子について (小野)

医療システム委員会で検討が重ねられ、柔整問題解説の一般向けの小冊子が完成した。
この小冊子は会員向けに配布し、会員を通じて一般市民向けの啓発に資するものとし、
また当学会ホームページの会員の部屋、柔道整復等に冊子 PDF を掲載する事が承認さ
れた。

6. 利益相反 (COI) に関する指針及び規則の変更について (成島)

法令の改正に伴い、利益相反 (COI) に関する指針及び規則の変更を行う事が承認され
た。

7. 非会員から投稿された国際化プロジェクト論文の英訳費用の取扱いについて
(鮫島)

当学会の投稿規程に不備があり、国際化プロジェクト論文の英訳費用の支払いに齟齬
が生じた。今回に限り会員からの投稿同様に無料とすることが承認された。

8. 新型コロナウイルスお見舞い金の期間延長について (木内)

対象期間を令和5年の3月31日まで延期することが承認された。

9. 外保連試案の定期購入について（寺門）

診療報酬改定の資料として必要であり、購入の上、各担当者に配布することが承認された。

10. 事務局相談役の雇用更新について（新井）

来年度の事務局相談役の雇用更新が承認された。

【各種報告事項】

1. 令和3・4年度各種会議等実施状況（奥村）

2. 令和4年度特別感謝状の辞退について（新井）

前回の理事会で承認された橋口兼久先生への令和4年度特別感謝状につき、御辞退の連絡があったことが報告された。

3. 高齢者の運動習慣アンケート調査の実施について（新井）

これまでに、子ども時代の身体活動量とロコモティブシンドロームの関係についての研究、調査報告はなく、今回の調査の目的は60歳以上の男女を対象に、子ども時代に運動をしていたか否か等を確認し、さらに現在の状況、治療中の運動器疾患を調査することで、子ども時代の運動習慣が将来の身体状況にどのような影響を及ぼしているかを検証する。

協力のお願いがあった。（～3月16日まで）

4. 令和4年度理事会等の日程の変更について（新井）

令和4年12月、令和5年2月の理事会の日程の変更の報告があった。

5. 令和4年度診療報酬改定について（新井）

1) 小児運動器疾患指導管理料の対象患者の年齢を、12歳未満から20歳未満に拡大する。

2) 疾患別リハビリテーション料における標準的算定日数を超えてリハビリテーションを行う場合において、月1回以上機能的自立度評価法（FIM）を測定していることを要件化する。

3) リハビリテーション実施計画書及びリハビリテーション実施総合計画書の署名欄について、患者等に当該計画書に係る説明を行う際に、説明内容及び当該患者等の同意を得た旨を診療録に記載することにより、同意を得ていること等が事後的に確認できる場合には、患者等の署名を求めなくても差し支えないこととする。

4) 医師が医学的必要性を認めた場合を除き、外来患者に対して、保険給付の範囲内で処方できる湿布薬の上限枚数を、1処方につき70枚までから63枚までに変更する

他に、詳細はまだ決定していないが大腿骨近位部骨折の二次性骨折予防継続管理料の新設、処置・手術の新設や増点等があることが報告された。

6. 小児運動器疾患指導管理料算定のための研修会の受講について（新井）

令和4年度診療報酬改定に伴う施設基準申請に際しては、DVDセミナー受講での申請を行うことはできないため、下記のマニュアルを参照の上、日整会ウェブサイトにて速やかにeラーニング受講を済ませ、受講証明書を取得するように報告があった。

https://www.joa.or.jp/topics/2018/files/e-learning_procedure_manual_20180718.pdf

7. 令和4年日向灘沖を震源とする地震被害について（新井）

8. 第34回JCOA学術集会（新潟）の収支報告について（木内）

9. 第34回JCOA学術集会（新潟）シンポジウム動画の会員への広報について（その後）（小野）

学術集會会期終了後直ちに学術発表動画は削除されており、シンポジストの動画のみを配信する予定であることが報告された。

10. 「コロナ自粛後の身体変化に関するアンケート調査結果」の英文論文について（二階堂）

11. JCOA 生命共済の新規加入に際しての告知内容について（渡邊）

持病（高血圧、糖尿病、がん、狭心症 etc.）のため申込日より起算して過去12か月以内に、連続して14日以上入院歴がある場合、加入できない。

12. 第4回JCOA災害医療チーム研修会報告（令和4年2月12日）（河村）

13. 第1回JCOADiT全国実務担当者会議報告（令和4年2月12日）（河村）

14. 令和3年度病院部会全体会議及びJCOA研修会（病院部会主催）報告（令和4年2月20日）（貴島）

15. 「Q&A 交通事故診療ハンドブック」編集WG委員の退任について（木内）

退任委員：東 北 青 森 中村 渉

退任理由：逝去

16. 日本運動器科学会学術プロジェクト「身体活動量とロコモ度の関係」用のオンラインストレージの作成について（鮫島）

17. 整形外科関連学会を対象とした調査について（新井）

日本整形外科学会の男女共同参画委員会より調査依頼があり、整形外科関連学会における男女共同参画推進など諸活動の現状等を調査するアンケートについて回答したことが報告された。

【各委員会等報告事項】

1. スポーツ委員会（令和3年12月19日）（鬼川）
2. 総務（広報・福祉・組織拡大）委員会（令和4年1月26日）（渡邊）
3. 利益相反管理委員会（令和4年2月1日～2月8日）（成島）
4. 医療システム委員会（令和4年2月2日）（小野）
5. 医療システム委員会、日整会広報・渉外委員会合同委員会（令和4年2月6日）（小野）
6. 病院WG、JCOA病院部会役員会合同会議（令和4年2月12日）（貴島）
7. 産業医委員会（令和4年2月16日）（國東）
8. 経理委員会（令和4年2月19日）（木内）
9. 運動器リハビリテーション・介護保険検討委員会（令和4年2月25日）（小野）

【日整会報告事項】

1. 日整会のオンライン化とコスト（原田）

////////////////////////////////////

整形外科医政協議会執行委員会

出席者：(26名)

【整形外科医政協議会報告事項】

1. 各県別加入状況（新井）
2. 執行部の動き（新井）

昨年11～12月は比較的活動ができたが、本年1月からはウェブ会議となっている。

8、大阪臨床整形外科医会療法士会 第56回勉強会

白木副会長

事業内容報告書

（公）大阪臨床整形外科医会 御中

報告日：令和4年1月11日

下記の通り事業を行いましたので報告致します。

開催日時	令和4年1月10日（月・祝）10:00～12:30
------	---------------------------

事業名 (テーマ)	大阪臨床整形外科医会療法士会 第56回 勉強会 『超音波セミナー』～頸から肩の痛みを中心に～		
講師	寺田 哲先生 (三島総合病院 ペインクリニック科 科長)		
会場	オンラインセミナー		
参加人数	会 員 : 7 名 (内当日入会 0 名) 非会員 : 51 名	参加費	会 員 : 1,000 円 非会員 : 2,000 円
助成金使用額	23,198 円 (開催費用 132,198 円 参加費収入 109,000 円)		
内 容	昨年行った超音波セミナーの第3弾 2部構成となっており 1部は講師による講演 2部セラピストによる超音波装置を使用したハンズオンデモンストレーション(腕神経叢、鎖骨下動脈の画像抽出)、総合ディスカッションを行った。 講演では痛みについての知識、姿勢評価の重要性について再確認、セラピストによるハンズオンデモンストレーションで解剖学的位置関係や画像抽出の理解を深めることが出来た。 (文責 加藤 正也)		

大阪臨床整形外科医会療法士会

令和3年度 大阪臨床整形外科医会療法士会

勉強会・講習会・研修会 事業 決算報告

令和3年度

事 第 56 回勉強会『超音波セミナー ～頸から肩の痛みを中心に

業名 ～』

開催日 2022/1/10

場所 WEBセミナー

収入の部					
	予算額 (円)			決算額 (円)	
		内訳			備考
1. 参加費			1. 参加費		
会員参加費	20,000	20 名 (人 1000 円)	会員参加費	7,000	7 名 (1 人 1000 円)
非会員参加費	100,000	50 名 (1 人 2000 円)	非会員参 加費	102,000	51 名 (1 人 2000 円)
2. OCOA 療法士担当委員会 援助金	12,685		2. OCOA 療法士担当 委員会援助金	23,198	
合計	132,685		合計	132,198	

支出の部					
	決算額 (円)			決算額 (円)	
		備考			備考
1. 会場費	0		1. 会場費	0	
2. 印刷費			2. 印刷費		
資料印刷費			資料印刷費		
その他印刷	5,000	案内	その他印刷	5,000	案内
3. 雑 費	12,000	販売手数料	3. 雑費	11,083	販売手数料
		通信機器関 連			
3. 人件費			3. 人件費		

講師謝礼金	50,000		講師謝礼金	50,000	
源泉所得税	5,685		源泉所得 税	5,685	
サポート	30,000		サポート	30,000	
座長、セラピ スト	25,000	座長1、セ ラピスト3	座長、セ ラピスト	25,000	座長1、セ ラピスト3
スタッフ料	5,000		スタッフ	5,000	
その他			その他	430	振込手数料
合計	132,685		合計	132,198	

収入計 132,198 円

支出計 132,198 円

9、令和3年度第4回総務委員会

1/26・WEB

邊見理事

日 時：令和4年1月26日（水）20:30～21:30

場 所：ウェブ会議

出席者：12名

審議事項

1. JCOA ニュースについて

1) JCOA ニュース 180 号の反省

薬剤名の記載は一般名を使用する必要はないが、商品名を記載する場合は〇〇〇

〇[®]と記載することを確認した。

2) JCOA ニュース 181 号の反省

a) 筆者の肩書は事務局で確認してもらうこととした。

b) 文章の文字数はできるだけ厳守してもらうことを確認した。

2. JCOA 会報について

1) JCOA 会報 29 号について

現在校正中で令和4年3月の発行予定である。

2) JCOA 会報 30 号について

第 35 回 JCOA 学術集会（徳島）の特集号とし、令和 5 年 3 月発行予定とする。その間に、会報に掲載すべき論文、原稿が一定数集まった場合は、特集号とせずに発行することも考慮する。

3. 新規 JCOA 会員入会者を増やすための取り組みについて

- 1) 9 都道府県から現在の対策についての報告があり、東京都の会員減少数、減少率が突出していた。
- 2) 地域に特徴があるため、都会と地方に分けて対策を講じる必要があると考えられた。
- 3) 都会では大学医局ごとの名簿を作成し勧誘することが必要と考えられるが、個人情報問題もあり、名簿作成は簡単ではない。
- 4) 地方はおおむね会員数も安定しており、今後新規開業者を確実に勧誘することが必要である。

報告事項

1. 令和 3 年度「骨と関節の日」行事報告

- 1) 開催を中止した都道府県は大きく減少した、講演会（ホール等、ウェブ等）、テレビ・ラジオが増加していた。
- 2) この結果は JCOA ニュースに掲載する。

2. 令和 4 年度「骨と関節の日」のテーマについて

テーマは「フレイル・ロコモ克服のためのロコモの取り組みについて～北から南まで～」に決定した。

10、令和 3 年度第 4 回医療システム委員会 2/2・WEB 宮崎理事

日 時：令和 4 年 2 月 2 日（水）19：30～21：15

場 所：WEB 会議

出席者：13 名

【理事会審議付帯事項】

柔整問題解説の一般向け小冊子「接骨院ってどんなところ？」が完成したので、理事会へ上程することとした。

【協議・検討事項】

1. 令和3年度 JCOA 医療システム委員会、JOA 広報渉外委員会合同委員会

令和4年2月6日に開催される委員会について、次の議題を提出することとした。

(1) 報告事項

① 令和3年度 JCOA シンポジウム

松本光司：「柔道整復療養費、基本のキ」

羽柴謙作：「全国の柔整審査員からのアンケート結果まとめ」

② 第19回柔道整復療養費検討専門委員会の内容

③ 一般向け小冊子「接骨院ってどんなところ？」の紹介

④ 医業類似行為に係わる健康被害等報告

⑤ 不正広告への対応の紹介

(2) 協議・検討事項

① 医師以外の超音波エコー使用問題

② 資料：「改訂 整骨院の横暴」

2. 一般向け小冊子「接骨院ってどんなところ？」

吉田政史委員長が作成した小冊子の内容について検討した。

(1) ケガの内容について「打撲・捻挫・骨折、脱臼」の順に記載する。

(2) 健康保険組合からの照会文書については「接骨院によっては、健康保険組合から照会文書が届いたら書き方を教えるので持ってきてと言われるかもしれません。でもこれは自分で記入すべきものです。」という文言はそのまま使用することとした。

3. 第35回 JCOA 学術集会（徳島）のシンポジウム企画について

今回は医療システム委員会でのシンポジウムは企画しない。演題の締め切りは2月16日となっている。

4. 理事長諮問事項答申

答申案について検討を行った。

5. 中川式腰痛治療法の紹介メールへの対応について

「東京整形外科学会」の差出人名のメールが中川式腰痛治療法の紹介で使用されている件について、東京の奥村副理事長に対処を依頼することとした。

【報告事項】

1. 令和3年度第3回医療システム委員会議事録（10/13）
2. 令和3年度第4回 JCOA 理事会議事録（10/17）

令和3年10月1日から専門医の広告は日本専門医機構認定専門医に限られるが、経過措置が講じられることとされた。
3. 令和3年度第5回 JCOA 理事会議事録（12/19）

学術集会倫理審査委員会（仮称）の立ち上げ、関節可動域ならびに測定法改訂（外がえしと内がえし）、令和4年度学会功労賞、学術奨励賞の決定など。
4. 令和3年度第2回 JOA 広報渉外委員会（11/30）
5. 第19回柔道整復療養費検討専門委員会（1/31）
 - （1）明細書発行の義務化について、償還払いに変更できる事例、復委任の問題、自己施術、自家施術についてなど。
 - （2）明細書発行について施術者の意見を反映する者から反論があり、未だ同意には至っていない。接骨院の領収書で保険外の項目があり金額が大きい。医科と同様に療養費の支払いも審査支払機関の設置が検討されているが、特定の団体が有益になるだけで十分機能しないのではないかとの意見あり。
6. 令和3年度 JCOA シンポジウム（11/27）
 - （1）登録者数計193名、アクセス者数計121名。
 - （2）今回のシンポジウムでは、柔整療養費支給の最前線で行われている審査会の現状を明らかにしたうえで、これからの課題を整理した。
 - （3）日本臨床分科医会（眼科、耳鼻科など）からの出席があった。
 - （4）会員や登録者から要請があった場合にDVDを配布する。
7. JCOA「運動器疾患 X 線撮影安全指針」の改訂 「柔道整復師と X 線」
 - （1）以前のものを、コンパクトにした形で改訂した。
 - （2）X 線は人体に危害をおよぼす性質を有しており、必要な知識および技能を有する医師、歯科医師、放射線技師のみ認められるものである。柔道整復師による X 線検査を認めることは適当ではない。
8. 交通事故の保険金詐欺事件について

福島県の柔道整復師が交通事故の保険金詐欺で逮捕された後、短期間で名称を変更して整骨院を経営しているようである。管理柔整師を代えて、整骨院の名称を変更して再開するケースがあることが報告された。
9. その他
 - （1）医師が医療機関の中で柔道整復師を雇用して立ち合いなしで骨折、脱臼の応急処置をさせることは

認められるのか否かについて、医療機関の中で柔道整復師はセラピスト資格保持者が業務をする以外は無資格者とみなされるので医師法違反に当たるとの意見があった。

- (2) 寝違えは関節可動域を超えた捻れや外力によって身体の組織が損傷を受けた状態ではないため外傷ではない。日整会ウェブサイトでも「寝違えは外傷（ケガ）ではなく、軽い病気です。」と明記されている。

1 1、令和 3 年度 JCOA 医療システム委員会、

日整会広報渉外委員会合同委員会

宮崎理事

日 時：令和 4 年 2 月 6 日（日）13：00～15：00

場 所：Web 会議

出席者：日本臨床整形外科学会医療システム委員会：12 名

日本整形外科学会広報渉外委員会：15 名

【報告事項】

1. 令和 3 年度 JCOA シンポジウム「柔整療養費審査会の問題点」について報告した。
 - (1) 「柔道整復療養費、基本のキ」 松本光司
療養費、現物給付と現金給付、受領委任などについて
 - (2) 「全国の柔整審査員からのアンケート結果まとめ」 羽柴謙作（代 吉田政史）
レセプト数の比較では、外傷では整形外科に比して接骨院では 10 倍、3 部位以上では 200 倍である。
2. 第 18 回社会保障審議会医療保険部会 柔道整復療養費検討専門委員会
 - (1) 柔道整復療養費検討専門委員会の設立趣旨
 - (2) 患者に対する聞き取り調査で、負傷部位が申請と異なる、外傷とは違う原因が多い。
 - (3) 柔道整復療養費検討専門委員会の活動もあり、平成 30 年に療養費の支給対象となる負傷で、“亜急性”の文言が削除され、外傷性が明らかな打撲、捻挫、骨折、脱臼になった。
 - (4) 柔道整復療養費の適正化について以下の 3 つの提案が議論された。
 - ① 明細書の義務化について
現状では、患者から施術に要する費用に係る明細書の発行を求められた場合にのみ明細書を発行。柔道整復療養費の適正化のためには発行の義務化が必要であるが、施術者の意見を反映する者から反論があり、未だ同意には至っていない。

② 不適切な患者の償還払いについて

現状では、不正が「明らか」な患者及び不正の「疑い」が強い患者であっても、引き続き受領委任払いとされているが、問題のある患者については、保険者において償還払いしか認めないようにする権限を与えるべきとの意見がある。

③ 療養費を施術管理者に確実に支払うための仕組みについて

現状では、復委任団体の中に悪質な団体が存在。柔道整復療養費が私的に流用された事例もある。医科と同様に療養費の支払いも審査支払機関の設置が検討されているが、特定の団体が有益になるだけで十分機能しないのではないかと意見あり。より綿密な制度の検討、準備が必要なため、令和4年6月までに方向性を定め、令和6年度中を目途に施行を目指す。

3. 一般向け小冊子「接骨院ってどんなところ？」について

内容について吉田政史委員長が報告した。

4、医業類似行為に係る健康被害等報告まとめ（令和3年1月1日～12月31日）

- (1) 報告数（128例）、報告施設数（25施設）、年齢（2～91歳）
- (2) 医業類似行為者の職種 柔整師：115例
- (3) 施術による事故や症状の悪化例：29例
- (4) 非外傷性疾患に対する施術例：103例
- (5) 不適切な施術例：30例
- (6) 骨折の見逃し：10例
- (7) 考察：健康被害報告の職種は柔道整復師が最も多く79.3%であった。柔道整復師にかかった113例中96例が非外傷性疾患で、その87.3%は保険証を提示していた。施術による事故、症状悪化例は、柔道整復師が非外傷性疾患に施術した際に最も多く見られた。柔道整復師の業務範囲外である非外傷性にまで施術していることが要因の1つとして考えられる。

5、不正広告への対応について

- (1) 吉田政史委員長が、不正広告に対する保健所への要望書について報告。
- (2) 相原忠彦アドバイザーが愛媛県の不正広告について報告。
- (3) 宮崎浩副委員長が大阪府の不正広告について報告。

6. 「改訂 接骨院の横暴」について

清水修一氏著の「整骨院の横暴」の改訂版について相原忠彦アドバイザーが報告。

【協議、検討事項】

1、医師以外の超音波エコー使用問題について

- (1) 柔整師の養成校ではエコーが教育カリキュラムに取り入れられており、将来の保険適応を狙っていると考えられる
- (2) エコーセミナーの講師に理学療法士がいる場合がある。理学療法士がエコーを使用する場合でも、患者への説明や診断は医師が行うべきである。
- (3) 厚労省医政局長、日本医師会会長に対して平成 30 年 10 月 23 日付けで柔整師による超音波画像観察における国民の健康への影響についての要望書を日整会理事長、JCOA 理事長の連名で提出している。
- (4) 今後の動向を注視していく。

2, 「亜急性の外傷」という表現を巡る経緯について

平成 26 年日本救急医学会、日本外科学会、日本整形外科学会の 3 学会名で「亜急性の外傷」という表現は医学的に用いられることはないこと、外傷はすべて急性であることを日本医師会に意見した。

1 2、第 62 回大阪整形外科症例検討会

山口理事

資料 1 1

1 3、JCOA 学会編集委員会

山口理事

国際化プロジェクト論文としてご投稿していただき 現在業者へ英訳依頼中の論文の著者先生より、英訳費用が高額であるため、投稿区分の変更についてお問い合わせをいただきました。

投稿規程では、主著者が非会員の場合、英訳費用は自己負担となる旨記載しておりますが、確認をしていただけていなかったと理解しております。

また、英訳業者へは正式に和文英訳を依頼しておりますので費用についての変更はできない状況となっております。

先生へは、どの様に返答すべきでしょうか。

ご検討よろしくお願い申し上げます。

■著者の先生との連絡メールを転載

【著者からの連絡 1】

一般社団法人日本臨床整形外科学会事務局

ご担当様

いつもお世話になっております。

現在国際化プロジェクト論文にて投稿中の、論文についてご連絡させていただきました。
投稿論文の英訳見積もり費用のお知らせが郵送で届いたのですが、こちらについて質問です。

少なくとも執筆時の投稿規定(添付ファイル)では著者が会員であれば英訳費用は学会負担と記載がありましたので、共著者が会員である本論文はそちらに該当すると考えておりました。

高額でもありますので、こちらの扱いがどうなっているのかご教示お願いできますでしょうか。どうかよろしくお願いいたします。

○著者の先生から添付していただいた資料は、「日本臨床整形外科学会雑誌（日臨整誌）への投稿」ページであり、その内容は下記のとおり

「主著者が会員の場合は本学会が費用を負担」と記載されております。

＊この文言を著者（共著者を含む）に会員がいた場合と理解されていたのだと解釈いたしました。

【事務局からの回答】

いつもお世話になっております。ご連絡ありがとうございます。

お送りいただきました投稿に関する資料にも記載しておりますが

主著者が会員の場合は本学会が英訳費用を負担するとなっております。

ご参考として、投稿規程（国際化プロジェクト論文、和文一般論文）

をあらためて添付いたしますので、ご確認下さい。

なお、英訳費用の請求は、本会雑誌発行後お送りさせていただきます。

何卒ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

○投稿規程を再度、添付いたしました。

【著者からの連絡 2】

ご教示いただきまことにありがとうございます。

一点確認ですが、こちらを英訳なしの和文一般論文に変更することは可能でしょうか。

これまで確認もなく、想定していない高額な料金であったため、
ご検討いただけますと幸いです。

どうかよろしくお願いいたします。

■論文

(国際化プロジェクト論文)

論文：

著者：(非会員)

【経緯】

国際化プロジェクト論文として投稿

2020年7月5日受付 2020年11月4日 受理

■論文英訳の経緯

2022年1月15日 英訳の依頼受

2022年1月17日 英訳業者に英訳の見積を依頼

英訳業者より見積受領・英訳発注

著者に英訳見積を送付(郵送)

■和文英訳の内容

基本料金@1,000円×1件＝1,000円

翻訳料金@7,000円×10.5枚＝73,500円

小計	74,500円
----	---------

消費税	7,450円
-----	--------

合計	81,950円
----	---------

●発注日：2022年1月17日

納品予定日：2022年1月27日(木)

■事務局処理手順(国際化プロジェクト論文、和文一般論文)

1. 委員会からの和文英訳を受ける
2. 英訳業者(国際医学情報センター翻訳課)に見積を依頼
3. 見積確認・発注
4. (主著者が非会員の場合)
英訳費用の見積金額を郵送にて著者に連絡
5. 英訳原稿受領
6. 委員会へ英訳原稿を送付

■投稿規程（抜粋）

国際化プロジェクト論文，和文一般論文

11 掲載料

3. 国際化プロジェクト論文の英訳の費用は，主著者が会員の場合は無料，主著者が非会員の場合は別途料金を徴収する．

■日本臨床整形外科学会雑誌（日臨整誌）への投稿（抜粋）

お知らせ

- ・論文は，国際化プロジェクト論文か和文一般論文の区分で投稿してください．

国際化プロジェクト論文は，和文で投稿された論文を英文（専門家による英訳，主著者が会員の場合は本学会が費用を負担）で刊行

議題：非会員である主著者から投稿された国際プロジェクト論文の英訳費用（概算で 81,950 円）を、雑誌投稿規程集の文言不備などを認め、今回は会員からの投稿同様、無料とする。
（学会雑誌編集委員会）

先般、非会員の主著者の国際プロジェクト論文へ投稿、受理された論文に関し、主著者へ請求予定の英訳費用を通知したところ、主著者より「一点確認ですが、こちらを英訳なしの和文一般論文に変更することは可能でしょうか。これまで確認もなく、想定していない高額な料金であったため、ご検討いただけますと幸いです。」との返事があった。

主著者が非会員の場合、英訳費用が主著者に発生することは投稿規程に明記されており、主著者がこれを理解されていなかったことが問題ではある。しかし、今回以下の2問題点が考えられた。

問題点1

現状での事務局処理手順（国際化プロジェクト論文、和文一般論文）

1. 委員会からの和文英訳を受ける
2. 英訳業者（国際医学情報センター翻訳課）に見積を依頼
3. 見積確認・発注
4. （主著者が非会員の場合）英訳費用の見積金額を郵送にて著者に連絡
5. 英訳原稿受領
6. 委員会へ英訳原稿を送付

以上の手順で今まで問題はなかった。
今回の論文英訳については、論文全体の英訳を発注済み（事前確認しなかった）なため著者の先生が英訳を拒否しても、英訳費用は発生する。

問題点 2

投稿規定添付 P68 には著者が会員ならば無料と記載されているのに対して、P71 は主著者が会員の場合は無料と記載されている。P68 をみて共著者に会員がいるから無料と判断された可能性がある。また、117 号 P68 の部分、国際化プロジェクト論文の案内が開始された 113 号から 115 号までは、執筆者が会員の場合、英訳の費用は学会が負担と表記されているが、116 号以降、著者が会員の場合、英訳の費用は学会が負担の表現に変更されている。どういう経緯で変更になったか不明だが、今回の主著者から事務局への問い合わせで、著者が会員の場合、英訳の費用は学会が負担の部分指摘され、共著者に会員がいるので英訳費用は無料と判断された旨、連絡を頂いた。

以上を考え、今回は英訳費用について非会員の主著者に対し英訳費用を請求しないとしたい。

*今後の解決策について

非会員からの国際化プロジェクト論文投稿の場合、「英訳の依頼前に主著者へ費用見積を通知し、承認を得たのちに発注が良い」、との意見が学会雑誌編集委員会委員の大勢であった。事務局にその旨作業手順の変更をお願いする。また今後、英訳費用負担の取扱いに混乱を生じないように、委員会内で投稿規程の記載内容変更を検討する。

1 4、地域情報委員

調子理事

2020 年度から開始された後期高齢者医療健康診査の質問票から抽出された身体的フレイル対象者に対するロコトレ普及の啓発について地区医師会へ働きかけをしていく。

地域情報委員各位（郡市区医師会で役員をされているまたはされていた理事）

2020 年度から始まったフレイル健診に対する具体的なフレイル対策が、2022 年度から実施されます。

フレイル健診対策は、大阪臨床整形外科医会にとってロコモ、ロコトレ啓発に重要なチャンスであり、整形外科医が積極的に関与して行くべきと考えております。

ぜひ、地区医師会においても多くの会員の先生方にご賛同頂き、協力して頂けるように働きかけをよろしくお願い致します。

コロナ禍で対面での“後期高齢者のフレイルに関する研修会”開催が困難なので、府医は研修会 DVD を作成し、昨年末に郡市区医師会と市町村に配布しています。この研修会は府医のホームページから視聴もできます（研修会動画・学習用資料：フレイルに関する医師向け研修会；ID：frailkensyukai PW：frail20211125）。

DVD 内で、ロコトレ指導方法や足腰に痛みのある際の具体的指導方法を述べております。

ロコトレ教室動画は、大阪臨床整形外科医会ホームページから視聴できます。

フレイル対策としてロコトレは最適な手段の 1 つです。各市町村では、介護予防対策として様々な対策がとられておりますが、安全を重視して座位での運動が多く、ロコトレのように足腰をしっかりと鍛えることのできる運動が行われていることが少ないのが現状です。

地区医師会と地元郡市区自治体が協働して、フレイル対策を効果的にするために今行われている介護予防運動にロコトレを追加して頂けることを願っております。

内科医の多くは老年症候群に詳しくても運動療法に精通しておらずロコモフレイルの方に対して適切な運動指導が苦手な医師もおられます。

フレイル健診を契機に多くの医師がロコトレ指導できるようになることを期待しています。整形外科医の中にもロコモフレイルの方に対する運動に関心が少ない先生もおられますが、これを機にロコトレ指導して頂ければ、地域でのロコモフレイル対策が充実したものとなります。

医師会の役員をされていない時におかれましても、地元医師会に働きかけをお願いしたく存じます。

大阪臨床整形外科医会 地域情報委員会

15、広報委員会

調子理事

大阪臨床整形外科医会会報48号 目次（案）

巻頭言 藤本 啓治先生

会長退任挨拶 長谷川会長

伊藤成幸先生追悼 長谷川会長

阪本邦雄先生追悼 増田 博先生

服部良治先生追悼

なにわの先達

OCOA 総会報告 第46回 一般社団法人大阪臨床整形外科医会定時総会 令和4年4月16日（土）

第34回日本臨床整形外科学会学術集会報告 (トキめき学会・新潟) オンライン開催

OCOA 研修会報告

第2回 WEB 研修会 令和2年12月26日(土) WEB 開催 共催 大正製薬株式会社

学術講演Ⅰ『脳機能画像解析による頸髄症の術後回復予測 ―最新の画像解析はここまでできる!―』

大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学(整形外科) 講師 海渡 貴司 先生

学術講演Ⅱ『変形性膝関節症の病態と保存療法 ―薬物療法も含めて―』

京都府立医科大学大学院医学研究科 運動器機能再生外科学 教授 高橋 謙治 先生

第339回研修会 令和3年4月10日(土) 共催 大正製薬株式会社

学術講演Ⅰ『インシデント・アクシデント報告から学ぶ ―前向き医療安全のススメ―』

講師: 近畿大学医学部血液・膠原病内科/

近畿大学医学部附属病院安全管理部・医療安全対策室教授 辰巳 陽一 先生

学術講演Ⅱ『変形性膝関節症 ―痛みの病態と治療―』

講師: 高知大学医学部整形外科教授 池内 昌彦 先生

第340回研修会 令和3年5月29日(土) 共催 エーザイ株式会社

学術講演Ⅰ『関節リウマチを取り巻く諸問題について』

講師: 大阪赤十字病院 リウマチ・膠原病内科 医長 片山 昌紀 先生

学術講演Ⅱ『脊椎脊髄疾患のサイエンス』

講師: 大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学(整形外科) 教授 岡田 誠司 先生

OCOA 特別研修会

令和3年6月12日(土) 共催 あゆみ製薬株式会社

学術講演Ⅰ『ライフイベントに応じた関節リウマチ治療 ―妊娠希望女性、高齢者、合併症を中心に―』

講師: 京都大学大学院医学研究科 医学研究科内科学講座 臨床免疫学 教授 森信 暁雄 先生

学術講演Ⅱ『オープンイノベーションによるアカデミア発の新規医療技術開発～整形外科領域を中心に～』 講師: 大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部 未来医療センター教授・センター長 名井 陽 先生

第341回研修会 令和3年6月19日(土) 共催 小野薬品工業株式会社

学術講演Ⅰ『関節リウマチにおける生物学的製剤と肩関節治療』

講師: 日暮里リウマチクリニック 院長 神戸 克明 先生

学術講演Ⅱ『コンピュータ支援整形外科とAI』

講師：大阪大学大学院 医学系研究科器官制御外科学 整形外科学 講師 高尾 正樹 先生

第 342 回研修会 令和 3 年 7 月 24 日（土）共催 ヴィアトリス製薬株式会社

学術講演Ⅰ『患者満足度の高い疼痛治療とは～神経障害性疼痛から考える～』

講師：岡山大学病院 整形外科助教 運動器疼痛センター 副センター長 鉄永 倫子 先生

学術講演Ⅱ『変形性膝関節症の疼痛発生機序に基づく除痛効果』

講師：第一東和会病院 副院長 膝スポーツ関節鏡センター長 藤田 晃史先生

第 343 回研修会 令和 3 年 8 月 21 日（土）共催 旭化成ファーマ株式会社

学術講演Ⅰ『長期機能予後を見据えた関節リウマチ治療』

講師：奈良県立医科大学 リウマチクリニック/整形外科 助教 原 良太 先生

学術講演Ⅱ『中高年の肩関節疾患に対する治療戦略～初診時の対応やエコーの活用、手術療法など～』

講師：江戸川病院 スポーツ医学科 部長 岩本 航 先生

第 344 回研修会 令和 3 年 9 月 25 日（土）共催 第一三共株式会社

学術講演Ⅰ『後縦靱帯骨化症における最近の知見～代謝疾患との関連、疼痛など～』

講師：東京大学大学院医学系研究科 整形外科学 東京大学医学部附属病院

脊椎脊髄センター 准教授、センター長 大島 寧（おおしま やすし）先生

学術講演Ⅱ『転移性脊椎腫瘍の診断と治療』

講師：大阪市立大学 整形外科 講師 鈴木 亨暢（すずき あきのぶ）先生

第 345 回研修会 10 月 16 日（土）共催 帝人ヘルスケア

学術講演Ⅰ『肩痛患者さんへのアプローチ』

講師：社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院 部長 新井 隆三 先生

学術講演Ⅱ『生活習慣病に忍びよる骨折リスクとその対応』

講師：大阪市立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学 准教授 今西 康雄 先生

第 346 回研修会 11 月 13 日（土）共催 久光製薬

学術講演Ⅰ『腰痛診療に関する最新の話題 ～各種診療ガイドラインを踏まえて～』

講師：富山大学医学部 整形外科 教授 川口 善治 先生

学術講演Ⅱ『更年期世代女性における手外科領域の疾患とエクオール～一般住民健診と実臨床での使用経験から～』

講師：和歌山県立医科大学 形成外科学講座 講師 下江 隆司 先生

第 347 回研修会 2 月 19 日（土）共催 科研製薬株式会社

学術講演Ⅰ『下肢痛・しびれを引き起こす疾患の診断と治療』

講師：市立豊中病院 整形外科 医長 柏井 将文 先生

学術講演Ⅱ 『頰椎症性脊髄症へのアプローチ -臨床の実際-』

講師：大阪医科薬科大学 生体管理再建医学講座 整形外科教室 助教 藤城 高志 先生

第 348 回研修会 3 月 26 日（土）共催 中外製薬株式会社

学術講演Ⅰ 『RA 患者の QOL 最大化には何が必要か？～筋肉からのアプローチ～』

講師：大阪市立総合医療センター 整形外科 多田 昌弘 先生

学術講演Ⅱ 『COVID-19 アップデート』

講師：大阪大学大学院医学研究科 感染制御学 教授 忽那 賢志 先生

（第 349 回研修会 2022 年度）

単位申請状況

OCOA 活動報告

厚生部報告

1 ゴルフ部

2 テニス部

会員投稿

1 医学史探訪⑥今井 秀

2 私の工夫

3 紀行

私の趣味

私の傑作

理事会議事録

令和 4・5 年度組織表

会員名簿補追

編集便り

OCOA 会報 48 号の発刊スケジュール

原稿締め切り 2022/5/13

著者校正 2022/5/16～5/31

広報担当理事校正 2022/6/6～6/13

広告締め切り 2022/6/3

校了 2022/6/17

印刷・製本 2022/6/20～/7/4

16、大阪マラソン

荻野理事

第10回大阪マラソン エリートのみ数百人（2022年2月27日開催）

◆会計報告◆

大阪マラソンに対して予算

●支出

会場費	58万4650円
交通費 地下鉄1日乗車券（600円）78名分	4万6800円
各種製作費 Tシャツ 2000円 ブルゾン 3500円（税抜）6名	36300円
郵送費 レターパック 520円×6	3120円
120円×78名分（ADカード及び乗車券）	9360円
事務費	0円
会場内ドリンク代金を除く 支出合計	68万0230円

●収入

打ち上げ会参加費 5000円 50名	収入合計	25万0000円
		▲（43万0230円）

大阪マラソンに対しての決算

●支出

会場費キャンセル料	違約金	見積金額の70%の提示を26%に減額
		14万5000円
		45万5548円（2019年）
		55万6378円（2018年）
交通費 地下鉄1日乗車券（600円）62名分	3万7200円	
各種製作費 Tシャツ 3500円 ブルゾン 5000円（税抜）7名	5万6000円	
Tシャツ 3500円 ブルゾン 5000円（税抜）1名	9350円	
事務費	0円	
	支出合計	24万7550円

●収入

収入合計 0円

次回第11回大阪マラソンに持ち越し

メトロ乗車券 56 名分 T シャツ 8 名分 ブルゾン 8 名分

この度のホテルキャンセル料金減額交渉で松矢先生 長谷川会長 古瀬先生には大変お世話になりました。

コロナ禍での出務不安の中 出務協力ありがとうございました。次回令和 5 年第 11 回大阪マラソンの詳細がわかり次第 ご報告させていただきます。

17、令和3年度研修会実績

木下副会長

表 1

		H29 年度	H30 年度	H31 年・R1 年度	R2 年度	令和 3 年度
2 月	リハ研修会 武田薬品 ANA クラウン	284 名 (126 名) 513,000 円	162 名 (80 名) 242,000 円			
	定例研修会 科研製薬 グランヴィア	337 名 (165 名) 541,000 円	318 名 (158 名) 489,000 円	302 名 (167 名) 468,000 円	216 名 (138 名) 317,000 円	WEB 研修会 214 名 (127 名) 418,000 円
	特別研修会 ツムラ				新型コロナウイルス 感染のため中止 リーガロイヤル	
3 月	定例研修会 中外製薬 帝国ホテル	172 名 (104 名) 289,000 円	162 名 (112 名) 289,000 円	185 名 (130 名) 225,000 円	新型コロナウイルス 感染のため中止	WEB 研修会 128 名 (97 名) 18,5000 円
4 月	特別研修会 アッヴィ合 同会社					WEB 研修会 111 名 (80 名) 185,000 円
	定例研修 会・総会 大正富山	219 名 (130 名) 311,000 円 ANA クラウン	195 名 (132 名) 288,000 円	165 名 (101 名) 237,000 円	新型コロナウイルス 感染のため中止	WEB 研修会 105 名 (89 名) 122,000 円

5 月	特別研修会 ツムラ					WEB 研修会 159 名 (106 名) 220,000 円
	定例研修会 エーザイ	252 名 (146 名) 432,000 円 ホテルグランヴィア	220 名 (135 名) 346,000 円	183 名 (126 名) 239,000 円	新型コロナウイルス 感染のため中止	WEB 研修会 182 名 (113 名) 303,000 円
	日本専門医 機構認定共 通講習会				新型コロナウイルス 感染のため中止 阿倍野 区民センター	
6 月	特別研修会 あゆみ製菓		120 名 (70 名) 170,000 円 コングレ	128 名 (89 名) 142,000 円 ヴィアール大阪	新型コロナウイルス 感染のため中止	WEB 研修会 98 名 (73 名) 13,9000 円
	定例研修会 小野薬品	235 名 (145 名) 306,000 円 リーガロイヤル	170 名 (109 名) 241,000 円	188 名 (129 名) 295,000 円	新型コロナウイルス 感染のため中止	WEB 研修会 117 名 (83 名) 200,000 円
7 月	特別研修会 大塚製薬				新型コロナウイルス 感染のため中止 ヒル トン大阪	WEB 研修会 128 名 (84 名) 202,000 円
	特別研修会 第一三共				新型コロナウイルス 感染のため中止	
	OCOA WEB 研 修会 エーザ イ				WEB 単位申請なし	
	定例研修会 ヴィアトリ ス (R2 年度 までファイ ザー)	246 名 (152 名) 361,000 円 ホテル阪急イン ターネット	183 名 (107 名) 241,000 円	177 名 (124 名) 212,000 円	新型コロナウイルス 感染のため中止	WEB 研修会 97 名 (66 名) 158,000 円
8 月	特別研修会 塩野義、イ	280 名 (185 名) 364,796 円 ANA クラウン	231 名 (141 名) 330,000 円	151 名 (99 名) 215,000 円		

	ーライリリ ー					
	定例研修会 旭化成 ANA クラウン	310 名 (164 名) 436,000 円	252 名 (145 名) 327,000 円	305 名 (171 名) 492,000 円	新型コロナウイルス 感染のため中止	WEB 研修会 98 名 (67 名) 165,000 円
9 月	骨関節フォー ラム 中 外&メジカル ビュー	175 名 326,000 円 コングレ	197 名 (125 名) 400,000 円			
	特別研修会 アステラス			262 名 (166 名) 501,000 円 リーガロイヤル		
	第 1 回 WEB 研修会 エ ーザイ				WEB 研修会 199 名 (112 名) 325,000 円	
	定例研修会 第一三共 ANA クラウン	251 名 (143 名) 350,000 円	191 名 (120 名) 234,000 円	195 名 (136 名) 257,000 円	WEB 研修会 116 名 (83 名) 198,00 円	WEB 研修会 109 名 (81 名) 170,000 円
10 月	特別研修会 クラシエ		122 名 (71 名) 164,000 円 ホテルモントレ グラスミア			
	定例研修会 帝人ファーマ リッツ・カール トン 50 周年	53,000 円 リッツ・カール トン 50 周年	190 名 (119 名) 247,000 円 ANA クラウン	164 名 (79 名) 298,000 円	WEB 研修会 132 名 (90 名) 266,000 円	WEB 研修会 109 名 (84 名) 156,000 円
	特別研修会 アステラス					WB 研修会 120 名 (77 名) 207,000 円
11 月	定例研修会 久光 リーガロイヤル	190 名 (114 名) 230,000 円 リーガロイヤル	152 名 (104 名) 199,000 円	173 名 (122 名) 217,000 円	WEB 研修会 133 名 (86 名) 250,000 円	WB 研修会 109 名 (73 名) 170,000 円

				阪急インターナ ショナル		
	骨関節フォー ラム 中 外&メジカル ビュー			186 名 402,000 円 コングレ	開催されず	
12 月	第 2 回 WEB 研修会大正 製薬				WEB 研修会 125 名 (83 名) 295,000 円	
1 月	定例研修会 日本臓器 ホテル阪急イン ターナショナル	173 名 (112 名) 242,000 円 ホテル阪急イン ターナショナル	211 名 (131 名) 280,000 円	172 名 (109 名) 243,000 円 ホテルグランヴ イア	WEB 研修会 154 名 (107 名) 276,000 円	
	スポーツ 研修会					OCOA 単独 WEB 研修 会 178 名 (94 名) 447,000 円
合計		4,754,796 円	4,507,000 円	4,443,000 円	1,927,000 円	3,447,000 円
平均		339,628 円	281,688 円	296,200 円	275,529 円	215,438 円

18、研修会推移

木下副会長

第 337 回 WEB	R3. 2. 20 WEB	会員 127 名 非会員 87 名 合計 214 名	418,000	科研製薬
第 338 回	R3. 3. 27 WEB	会員 97 名 非会員 31 名 合計 128 名	185,000	中外製薬

特別 WEB 研修会	R3. 4. 3 WEB	会員 80 名 非会員 31 名 合計 111 名	185,000	アッヴィ合同会社
第 339 回/総会	R2. 4. 10 WEB (ANA)	会員 89 名 非会員 16 名 合計 105 名	122,000	大正製薬
特別 WEB 研修会	R3. 5. 15 WEB	会員 106 名 非会員 53 名 合計 159 名	220,000	ツムラ
第 340 回	R3. 5. 29 WEB	会員 113 名 非会員 69 名 合計 182 名	303,000	エーザイ
特別 WEB 研修会	R3. 6. 12 WEB	会員 73 名 非会員 25 名 合計 98 名	139,000	あゆみ製薬
第 341 回	R3. 6. 19 WEB	会員 83 名 非会員 34 名 合計 117 名	200,000	小野薬品
OCOA 特別研修会	R3. 7. 10 WEB	会員 84 名 非会員 44 名 合計 128 名	202,000	大塚製薬
第 342 回	R3. 7. 24 WEB	会員 66 名 非会員 31 名 合計 97 名	158,000	ヴィアトリス (R2 年度まで ファイザー)
第 343 回	R3. 8. 21 WEB	会員 98 名 非会員 31 名 合計 97 名	165,000	旭化成
第 344 回 研修会	R3. 9. 25 WEB	会員 81 名 非会員 28 名 合計 109 名	170,000	第一三共

第 345 回 研修 会	R3. 10. 16 WEB	会員 84 名 非会員 25 名 合計 109 名	156, 000	帝人
特別研修会	R3. 10. 30 WEB	会員 77 名 非会員 43 名 合計 120 名	207, 000	アステラス
第 346 回 研修 会	R3. 11. 13 WEB	会員 73 名 非会員 36 名 合計 109 名	170, 000	久光製薬
スポーツ研修会	R4. 1. 29 WEB	会員 94 名 非会員 84 名 合計 178 名	447, 000	OCOA 単独
合計			3, 447, 000	

19、療法士会 実績

木下副会長 白木副会長

療法士会実績

	助成金	繰越し 金	会員数 (時点)	研 修 会	技術 的講 習会	勉 強 会	療法士 会開催 分参加 会員延 べ数	JCOA 学 術集会演 題発表	日本運動 器科学会 学術集会 シンポ演 題参加	合同研修 会 OCOA リ ハ研修会
H23 年 (発足)	500, 000	0	105 (H24. 1. 25)	1	0	0	65	—	—	—
H24 年	650, 092	24, 908	123 (H24. 7. 31)	1	3	6	165	1 題 (第 25 回)		○
H25 年	657, 919	27, 018	122 (H26. 3. 31)	1	4	6	174	1 題 (第 26 回)		○
H26 年	579, 043	120, 210	123 (H27. 3. 31)	1	3	6	146	1 題 (第 27 回)	1 題 (第 26 回)	○

H27 年	416,758	168,136	127 (H28. 3. 31)	1	3	6	100	1 題 (第 28 回)		○
H28 年	650,092	36,141	120 (H29. 1. 31)	1	3	6	143	1 題 (第 29 回)		○
H29 年	463,534	194,239	126 (H30. 1. 31)	1	3	6	158	1 題 (第 30 回)		○
H30 年	713,521	12,843	131 (H31. 1. 31)	1	3	6	193	1 題 (第 31 回)		○
R1 年度	500,000	67,516	109 (R2. 1. 22)	1	0	8	155	1 題 (第 32 回)		R1 年度よ り廃止
R2 年度	500,000	46,605	113 (R3. 3. 31)	0	0	2	33	—	—	—
R3 年度	200,000	457,611	102 (R4. 2. 14)	0	0	4	49	—	—	—

20、委員会報告

各担当理事

1. 総務委員会

・(議事録)

中野理事

総務の議事録についての委員会は開催しておりません。

COVID-19 禍で理事会は 6 月・9 月は ZOOM 開催。前日までに印刷資料の配布をするため、理事会 4 週間前から資料募集し 7 日前に締め切りとした。

1、理事会資料編集作成（ホームページ理事会専用に掲載）和田孝彦 岸本英樹（敬称略）

令和 3 年 6 月 5 日、9 月 4 日、12 月 4 日、令和 4 年 3 月 5 日、計 4 回作成。

2、総会レジメ作成 中野晋吾 ほか

令和 3 年 12 月 28 日レジメ委員会、順次修正し令和 4 年 3 月 7 日校了予定。

3、議事録作成（作成後、次回理事会で承認、ホームページ会員の部屋に掲載）

令和 3 年 6 月 5 日 A 宮口正継 明石健一 榎本 誠

令和 3 年 9 月 4 日 B 大成浩征 大窪 博 中谷晃之

令和 3 年 12 月 4 日 C 清水広太 邊見俊一 片岡英一郎

令和3年 3月5日 D 吉村弘治 山本善哉 小坂理也（今回予定）

4、令和3年度の議事録、第45回総会・4月議事録、を会報第47号に掲載。

・福利厚生委員会 宮崎理事

福利厚生委員会は開催していません。

令和3年度、テニス部例会、ゴルフ部コンペともに開催していません。

2. 学術委員会 神藤理事

令和4年1月29日（土）午後4時より大阪臨床整形外科医会スポーツ研修会を実施した。OCA 初のメーカー共催のない、単独開催であったが、参加者200名の盛会であった。今後もメーカー共催のない、研修会が増加すると思われ、良い経験となった。

3. 医療保険対策委員会

(1)社会保険 小林副会長

9月11日に令和3年度 JCOA 保険審査委員会議（WEB）および9月12日に全国整形外科保険審査委員会議（WEB）が開催され審査委員が参加した。

(2)自賠・労災 調子理事

委員会開催なし

(3)柔道整復審査 岸本理事

委員会開催無し

4. 定款委員会 藤本副会長

委員会開催なし

5. 広報委員会

(1)会報編集 調子理事

会報誌47号の編集と発刊を行った。

また、会報誌の電子化について委員会で検討をおこなった。

(2)インターネット 岸本成人

(3)NEXLINK 宮崎理事

NEXLINK は最新の会員名簿により整備をしています。

6. 介護保険・運動器リハビリテーション

(1)セラピスト RC 上野憲司

(2)介護保険 吉村理事

活動なし

7. 「骨と関節の日」委員会 大成浩征

8. JCOA 対策委員会

(1)病院 古瀬理事

JCOA 病院部会

令和 3 年 6 月 25 日 令和 3 年度第 1 回病院 WG、JCOA 病院部会役員合同会議
(Web 会議)

令和 4 年 2 月 12 日 令和 3 年度第 2 回病院 WG、JCOA 病院部会役員会合同会議
(Web 会議)

令和 4 年 2 月 20 日 JCOA 研修会 (病院部会主催) Web 開催

特別講演 1「コロナと医療経営」

講師：一般社団法人日本医療法人協会 会長 加納繁照先生

特別講演 2「令和 4 年度診療報酬改定について」

講師：株式会社仲野メディカルオフィス 代表取締役 仲野 豊先生

(3)無床診 梁 理事

JCOA 対策委員会の無床診は、活動無しで報告事項はありません。

(4)近畿ブロック 吉村理事

2021 年 4 月 17 日 (土) 第 77 回近畿ブロック会議 (担当：京都 COA)

2021 年 11 月 6 日 (土) 第 78 回近畿ブロック会議 (担当：和歌山 COA)

9. 大阪マラソン委員会 荻野理事

今年は大阪マラソン 一般の部は開催されず

救護所出務はなくなりましたので、委員会活動報告はございません。

10. 整医協連絡委員会 長谷川会長

2021 年度整医協連絡委員会の活動報告

コロナ禍にて厚労省、日医等に出務が制限された。

11/18、12/2 に厚労省へ出務して診療報酬についての種々の折衝を行った。

12/7 運動器議員連盟総会に出席した。

今年度は小児運動器疾患指導管理料の年齢制限の拡大について要望した。

11. 療法士担当委員会 中川理事

12. 経理委員会

・会計 木下副会長

令和 3 年度 経理委員会

5 月 1 日～5 月 6 日 スポーツ研修会開催について

7 月 1 日～7 月 3 日 メール広告について (協和キリン株式会社)

7 月 15 日～7 月 17 日 メール広告について (アムジェン株式会社)

8月25日～8月27日 HPリニューアルについて

8月31日～9月2日 メール広告について（アステラス製薬株式会社）

9月17日～9月19日 メール広告について（アムジェン株式会社）

10月31日～11月4日 令和4年度予算編成について

12月2日～12月3日 スポーツ研修会 大企業向け仕様の利用について

・理事会・会場 吉村理事

理事会 2021年3月6日 (WEB)

2021年6月5日 (WEB)

2021年9月4日 (WEB)

2021年12月4日 (対面)

理事会後の情報交換会は2021年度は開催せず。

・会員管理 白木副会長

会計の会員管理についての委員会は開催しておりません。

13. 災害対策検討委員会 神藤理事

今年度の委員会活動はなかったが、JCOA 災害医療チーム検討委員会で組織した。

全国実務連絡担当者にこれまでの小林正之先生に加え、宮崎 浩先生に就任して頂いた。

14. 地域情報委員会 調子理事

2020年度から開始された後期高齢者医療健康診査の質問票から抽出された身体的フレイル対象者に対するロコトレ普及の啓発について会員への協力を依頼する。

15. リクルート委員会 邊見理事

リクルート委員会では、労災・府医の新規開業リストや、大学からの新規開業者情報から各大学別の非会員開業医を抽出しリストを作成し、入会勧誘を進めている。令和3年4月以降、新入会者4名が加わったが、退会者6名（内5名が死亡退会）のため、OCHOA正会員493名（JCOA正会員494名）に留まっている。

今後も整形外科診療所の高齢化と、コロナ禍での新規開業医数の減少が予想される。現在までの勧誘活動だけでなく、本年度好評であった新規開業を予定している病院勤務医及び新規開業医に対し、事務的及びコンサル内容的研修会を来年度も開催し、入会者増に繋げたい。

※ SAT 特別委員会 梁 理事

SAT 特別委員会は、WEB研修会の作業を堀口副会長の指示のもと、

土・日・祝日も含めて毎日粛々として行っておりますが、特別な報告事項はありません

ん。

2 1、研修会実施報告

堀口副会長

大阪臨床整形外科医会 スポーツ研修会（令和4年1月29日 WEB研修会 E-TESTなし）共催 無 16:00～ 視聴者数 178名（会員 94名 非会員 84名）

講演1：「膝スポーツ傷害の最近の話題」座長：明石 健一 先生

演者：大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科 講師 橋本 祐介 先生

N2（外傷性疾患（スポーツ障害を含む）、12（膝・足関節・足疾患）、S（スポーツ医）
日医 57（外傷）、61（関節痛）

講演2：「肩のスポーツ障害の診断と治療」座長：調子 和則 先生

演者：大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科 病院講師

間中 智哉 先生

N2（外傷性疾患（スポーツ障害を含む）、9（肩甲帯・肩・肘関節疾患）、S（スポーツ医）

日医生涯教育 CC 日医 1（医師のプロフェッショナルリズム）、10（チーム医療）

講演3：「上肢スポーツ傷害の最近の話題」座長：木下 裕介 先生

演者：大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科 准教授 岡田 充弘 先生

N2（外傷性疾患（スポーツ障害を含む）、10（手関節・手疾患（外傷を含む））、S（スポーツ医）

日医 9（医療情報）、15（臨床問題の解決のプロセス）

日本手外科学会 1単位

日本医師会認定健康スポーツ医 3単位（講演1、2、3まとめて）

日本リハビリテーション医学会 リハビリテーション科専門医【2単位】、認定臨床医【20単位】（講演1、3あわせて）

第347回大阪臨床整形外科医会WEB研修会（令和4年2月19日 WEB研修会：科研製薬
16:00～ 視聴者数 125名（会員 86名 非会員 39名）

講演 1 : 「下肢痛・しびれを引き起こす疾患の診断と治療」 座長：清水広太 先生

演者：市立豊中病院 整形外科 医長 柏井 将文 先生

N1（整形外科基礎科学）、N 7（脊椎・脊髄疾患）、SS（脊椎脊髄病医）

日医生涯教育 CC 15（臨床問題解決のプロセス）、60（腰痛）

講演 2 : 「頸椎症性脊髄症へのアプローチ -臨床の実際-」 座長：小坂 理也 先生

演者：大阪医科薬科大学 生体管理再建医学講座 整形外科学教室 助教 藤城 高志
先生

N 7（脊椎・脊髄疾患）、SS（脊椎脊髄病医）

日医生涯教育 CC 9（医療情報）、63（四肢のしびれ）

日本リウマチ学会 2 単位（講演 1, 2 まとめて）

2 2、その他

長谷川会長